

靜岡縣  
立濱松中學校一覽

明治卅五年  
一月發行

目 錄

第一章 沿革略

第一 設立前沿革略

第二 設立後沿革略

第二章 中學校ニ關スル勅令及省令

第一 中學校令

第二 中學校令施行細則

第三章 中學校ニ關スル縣令及訓令

第一 縣立中學校學則

第二 公立中學校職員職務規程

第三 縣立學校長職務規程

第四章 內 規

第一 生徒心得



一 一 二 五 五 九 二 四 二 四 三 八 三 八 四 〇 四 〇

第二	生徒敬禮法	四二
第三	當直心得	四五
第四	御眞影并勅語曆本奉衛手續	四六
第五	級監規程	四七
第六	級長規程	四八
第七	校內巡視規程	四八
第八	學友團規則	四九
第九	職員會議規程	五〇
第十	受持教員會議規程	五一
第十一	教科用圖書調查內規	五二
第十二	生徒欠席ニ關スル內規	五四
第十三	公認下宿ニ關スル內規	五四
第十四	寄宿舍細則	五五
第五章	敷地及建物	六五

第六章	職員及役員	六七
第一	現職員	六七
第二	舊職員	六九
第三	囑托役員	七〇
第七章	生徒	七一
第一	現在生徒郡別表	七一
第二	創立以來入學者郡別表	七二
第三	特待生	七三
第八章	卒業生	七三
附	錄	七三
第一	校友會規則	八五
第二	蜻蛉會規則	八八

靜岡縣立濱松中學校一覽

第一章 沿革略

第一節 設立前沿革略

明治七八年ノ交小學校教員養成ノ目的ヲ以テ濱松町元城(舊校舍)ニ一學校ヲ設ケラレ明治八年七月濱松縣ニ於テ瞬養校(卒業期二ヶ月)ト名ケ澁江保主トシテ教授ノ任ニ當リシト聞ク是レ抑モ本校ノ起源ト云フベキモノニシテ其後四回ノ卒業生ヲ出セル頃濱松縣廢セラレテ靜岡縣ニ合併スルニ至リ瞬養校ハ改リテ靜岡縣支校トナリ荒野文雄校長タリ

支校程ナク廢セラレテ此所ニ濱松尋常中學校ナルモノハ設立サレタリ秋山常太郎杉原正市等相續テ校長トナリ諸事漸ク整備シ來リタルガ明治十九年勅令第十五號ニヨリ一府縣一中學ノ制ヲ布カレ遂ニ廢校ノ不得止ニ至レリ

明治廿五年濱名郡町村組合ハ橋本吉五郎山本庄次郎澤田寧三名ヲ委員ニ舉ゲ中學設立運動ヲナシタルモ法令ノ許スベキモノナキヲ以テ遂ニ其希望ヲ達スル事能ハザリキ然ルニ廿六年勅令第三十三号ヲ以テ町村組合ニ中學校設置ヲ許可スルニ至リタレバ再ビ山本庄次郎中村吉太郎高林竹十應森真司竹村

又一郎等ヲ運動委員トシ其他橋本吉五郎石原猪吉郎山崎金重中村忠七等各種ノ委員トナリテ尽力シ遂ニ廿七年四月静岡中學校分校トシテ再ビ西遠ノ地ニ中學校ノ設立ヲ見ルニ至レリ

### 第二 設立后沿革畧

明治廿七年四月静岡縣尋常中學校濱松分校濱松町元城ニ設置セラル其名縣ノ分校ト稱スト雖實ハ敷知濱名長上三郡四十二ヶ町村組合立學校ニシテ郡長青沼沃之ガ管理者タリ  
全年四月十日静岡縣尋常中學校教諭平田義烈分校首席教諭ニ任ゼラル  
全年四月十九日分校開校ノ式ヲ舉ゲ本縣知事小松原英太郎臨場セラル  
全年十一月二日非職第三高等學校教授田村初太郎分校長ヲ囑托セラル  
明治廿八年二月九日願ニ依リテ田村初太郎ノ校長囑托ヲ解カル  
全年三月本校ノ組織ヲ變更シ全ク敷知濱名長上三郡町村組合立ノ獨立中學ト爲スコトニ定マリ依リテ全月三十一日職員悉ク解職セラル  
全年四月一日當時獨立セシ中學ヲ静岡縣濱松尋常中學校ト稱シ元分校員改メテ本校職員ニ任命セラル  
全年四月四日嶋根縣尋常中學校教諭木村巖本校校長兼教諭ニ任ゼラル  
全年六月六日文部大臣ヨリ徵兵令第十三條ニヨリ認定セラレ始メテ徵兵猶豫ノ許シヲ得タリ

明治二十九年三月三十一日首席教諭平田義烈休職ヲ命ゼラル

全年四月二日福岡縣尋常師範學校教諭米山久彌本校首席教諭ニ任ゼラル

全年六月七日濱名郡須松町及富塚村ノ界ニ於テ地所六千六百坪ヲ購入ス此レ當時ノ校舍敷地共ニ狹隘ナルヲ以テ之レヲ移轉センガ爲メナリ

全年九月十二日校長木村巖休職ヲ命ゼラレ留學ノ爲メ渡米ス由リテ教諭米山久彌其後ヲ襲ヒ校長兼教諭ニ任ゼラル

全年十月一日長崎縣平戸尋常中學校教諭杉田平四郎本校首席教諭ニ任ゼラル

全年十一月一日會テ購入セシ敷地ニ生徒寄宿舎ヲ設ケントシ工事ニ着手ス此レ當時舊濱松病院ノ病室ヲ以テ假リニ寄宿舎ニ充ツルト雖モ甚ダ狭小ニシテ生徒總數三百五十餘名ニ對シ僅カニ三十名ヲ入ルニ過ギザルヲ以テ校舍ニ先テ之ガ新築ニ着手セシナリ

明治三十年二月二十六日校長米山久彌本縣尋常師範學校長ニ任ゼラレ教諭杉田平四郎校長心得ヲ命ゼラル

全年三月十五日校長心得杉田平四郎校長兼教諭ニ任ゼラル

全年三月二十九日第一回卒業證書授與式ヲ行ヒ本縣知事小松原英太郎臨場セラル

全年四月十八日客年十一月新築ニ着手セシ寄宿舎落成シタルヲ以テ之ニ生徒ヲ移轉ヒシム  
 全年四月二十六日島根縣第一尋常中學校教諭田村豊久本校首席教諭ニ任ゼラル  
 明治三十一年三月十九日校長病氣欠勤中教諭田村豊久ニ校長事務代理ヲ命ゼラル  
 全年全月二十八日陸軍補充條例第七條第二ニヨリ文部大臣ヨリ指定セラル  
 全年四月一日本校ノ組織ヲ變更シ縣立中學トナレリ  
 全年四月二日第二回卒業証書授與式ヲ行ヒ縣知事男爵千家尊福臨場セラル  
 全年六月二日ヨリ新校舎ニ移轉ヲ始メ六日落成式ヲ行ヒ摺澤第十八聯隊長其他朝野ノ名士參會ス右終  
 テ本校設立尽力者ニ紀念品贈附式ヲ行ヒ山本庄次郎橋本吉五郎高林竹十外數十名授與サレタリ  
 明治卅二年三月卅一日第三回卒業証書授與式ヲ行ヒ縣知事代理村上參事官臨場セラル  
 明治卅三年三月廿九日第四回卒業証書授與式ヲ舉行シ知事代理村上參事官臨場セラル  
 全年四月一日首席教諭田村豊久新潟縣新潟中學校へ轉任ス  
 全年四月廿日校長杉田平四郎熊本縣第一中學校長ニ轉任シ全日靜岡縣視學竹下莊一郎校長ニ任セラル  
 全年八月初旬校舎副築ニ取掛ル  
 全年十二月十日教諭心得末久喜十郎首席教諭ニ任ゼラル

明治三十四年三月廿九日第五回卒業証書授與式ヲ行ヒ縣知事代理梶山視學官臨場セラル  
 全年三月下旬副築校舎落成ス  
 全年六月寄宿舎副築ニ着手ス  
 全年十一月四日講堂開始式ヲ舉行ス

第二章 中學校ニ關スル勅令及省令

第一 中學校令 (明治三十二年二月六日勅令第二十八號)

朕中學校令ノ改正ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム  
 第一條 中學校ハ男子ニ須要ナル高等普通教育ヲ爲スヲ以テ目的トス  
 第二條 北海道及府縣ニ於テハ土地ノ情況ニ應シ一箇以上ノ中學校ヲ設置スヘシ  
 文部大臣ハ必要ト認ムル場合ニ於テ府縣ニ中學校ノ増設ヲ命スルコトヲ得  
 第三條 前條ノ中學校ノ經費ハ北海道及沖繩縣ヲ除ク外府縣ノ負擔トス  
 第四條 郡市町村北海道及沖繩縣ノ區ヲ含ム又ハ町村學校組合ハ土地ノ情況ニ依リ須要ニシテ其ノ區域内小學教育ノ  
 施設上妨ナキ場合ニ限り中學校ヲ設置スルコトヲ得

第五條 私人ハ本令ノ規定ニ依リ中學校ヲ設置スルコトヲ得

第六條 土地ノ情况ニ依リ中學校ノ分校ヲ必要トスルトキハ文部大臣ノ認可ヲ經テ之レヲ設置スルコトヲ得但シ一校ニ付一分校ニ限ル

第七條 中學校ノ設置廢止ハ文部大臣ノ認可ヲ受クヘシ

中學校ノ設置廢止ニ關スル規則ハ文部大臣之レヲ定ム(明治三十二年文部省令第十四號ヲ以テ設置廢止規則公布)

第八條 公立中學校ノ位置ハ文部大臣ノ認可ヲ經テ地方長官之ヲ定ム

第九條 中學校ノ修業年限ハ五箇年トス但シ一箇年以内ノ補習科ヲ置クコトヲ得

第十條 中學校ニ入學スルコトヲ得ル者ハ年齢十二年以上ニシテ高等小學校第二學年ノ課程ヲ卒リタル者又ハ之ト同等ノ學力ヲ有スル者タルヘシ

第十一條 中學校ノ學科及其程度ニ關スル規則ハ文部大臣之ヲ定ム

第十二條 中學校ノ教科書ハ文部大臣ノ檢定ヲ經タルモノニ就キ地方長官ノ認可ヲ經テ學校長之ヲ定ム但シ文部大臣ノ檢定ヲ經ザル教科書ヲ使用スル必要アルトキハ地方長官ハ文部大臣ノ認可ヲ經テ一時其使用ヲ認可スルコトヲ得

中學校教科書ノ檢定ニ關スル規則ハ文部大臣之ヲ定ム

第十三條 中學校ノ教員ハ文部大臣ノ授與シタル教員免許狀ヲ有スル者タルヘシ但シ文部大臣ノ定ムル所ニ依リ本文ノ免許狀ヲ有セサル者ヲ以テ之ニ充ツルコトヲ得

中學校教員免許狀ニ關スル規則ハ文部大臣之ヲ定ム

第十四條 公立中學校職員ノ俸給旅費其ノ他諸給與ニ關スル規則ハ文部大臣ノ認可ヲ經テ地方長官之ヲ定ム

第十五條 中學校ノ編制及設備ニ關スル規則ハ文部大臣之ヲ定ム(明治三十二年文部省令第三號ヲ以テ編制及設備規則公布)

第十六條 公立中學校ニ於テハ授業料ヲ徵收スヘシ但シ特別ノ場合ニ於テハ之ヲ減免スルコトヲ得

授業料入學料等ニ關スル規則ハ公立學校ニ在リテハ地方長官ニ於テ私立學校ニ在リテハ設立者ニ於テ文部大臣ノ認可ヲ經テ之ヲ定ム

第十七條 本令ノ規定ニ依ラサル學校ハ中學校ト稱スルコトヲ得ス

第十八條 本令施行ノ爲メニ必要ナル規則ハ文部大臣之ヲ定ム

附 則

第十九條 本令ハ明治三十二年四月一日ヨリ施行ス

第二十條 既設ノ尋常中學校分校ニシテ第六條ノ制限ニ超過スルモノハ文部大臣ノ認可ヲ經テ本令施

行ノ日ヨリ五箇年以内存置スルコトヲ得

第二十一條 明治十九年勅令第十五號中學校令第十二條ニ依リ設置シタル農業工業商業等ノ專修科ハ本令施行ノ日ニ於テ現ニ在學スル生徒ノ卒業スル迄之ヲ存置スルコトヲ得

第二十二條 既設ノ公私立尋常中學校ハ本令施行ノ日ヨリ中學校ト改稱ス  
他ノ法令中尋常中學校トアルハ本令施行ノ日ヨリ當然中學校ト看做ス

第二 中學校令施行規則 (明治三十四年三月五日  
文部省令第三號)

第一章 學科及其ノ程度

第二章 學年教授日數及式日

第三章 編 制

第四章 設 備

第五章 設置及廢止

第六章 入學、在學、退學及懲戒

第七章 補 則

第八章 附 則

中學校令施行規則

第一章 學科及其ノ程度

第一條 中學校ノ學科目ハ修身、國語及漢文、外國語、歷史、地理、數學、博物、物理及化學、法制及經濟、  
圖畫、唱歌、體操トス

外國語ハ英語、獨語又ハ佛語トス

法制及經濟、唱歌ハ當分之ヲ缺クコトヲ得

第二條 修身ハ教育ニ關スル勸語ノ旨趣ニ基キ道德上ノ思想及情操ヲ養成シ中等以上ノ社會ニ於ケル  
男子ニ必要ナル品格ヲ具ヘシメンコトヲ期シ實踐躬行ヲ勸奨スルヲ以テ要旨トス

修身ハ初ハ嘉言善行等ニ徴シ生徒日常ノ行狀ニ因ミテ道德ノ要領ヲ教示シ進ミテハ稍々秩序ヲ整ヘ  
テ自己、家族、社會及國家ニ對スル責務ヲ知ラシメ又倫理學ノ一班ヲ授クヘシ

第三條 國語及漢文ハ普通ノ言語文章ヲ了解シ正確且自由ニ思想ヲ表彰スルノ能ヲ得シメ文學上ノ趣  
味ヲ養ヒ兼テ智徳ノ啓發ニ資スルヲ以テ要旨トス

國語及漢文ハ現時ノ國文ヲ主トシテ講讀セシメ進ミテハ近古ノ國文ニ及ホシ又實用簡易ナル文ヲ作  
ラシメ文法ノ大要ニ國文學史ノ一斑ヲ授ケ又平易ナル漢文ヲ講讀セシメ且習字ヲ授クヘシ



第四條 外國語ハ普通ノ英語、獨語又ハ佛語ヲ了解シ且之ヲ運用スルノ能ヲ得シメ兼テ知識ノ増進ニ資スルヲ以テ要旨トス

外語國ハ發音、綴字ヨリ始メ簡易ナル文章ノ讀方、譯解、書取、作文ヲ授ケ進ミテハ普通ノ文章ニ及ホシ又文法ノ大要、會話及習字ヲ授クヘシ

第五條 歴史ハ歷史上重要ナル事蹟ヲ知ラシメ社會ノ變遷、邦國、盛衰ノ由ル所ヲ理會セシメ特ニ我國ノ發達ヲ詳ニシ國體ノ特異ナル所以ヲ明ニスルヲ以テ要旨トス

歴史ハ日本歴史及外國歴史トシ日本歴史ニ於テハ國初ヨリ現時ニ至ルマテノ重要ナル事歴ヲ授ケ外國歴史ニ於テハ世界大勢ノ變遷ニ關スル事蹟ヲ主トシ著名ナル諸國ノ興亡、人文ノ發達及我國ノ文化ニ關係アル事蹟ノ大要ヲ知ラシムヘシ

第六條 地理ハ地球ノ形狀、運動並ニ地球表面及人類生活ノ狀態ヲ理會セシメ我國及諸外國ノ國勢ヲ知ラシムルヲ以テ要旨トス

地理ハ日本地理並ニ我國ト重要ノ關係アル諸外國ノ地理ノ大要ヲ知ラシメ又地文ノ一班ヲ授クヘシ

第七條 數學ハ數量ノ關係ヲ明ニシ計算ニ習熟セシメ兼テ思考ヲ精確ナラシムルヲ以テ要旨トス  
數學ハ算術、代數初步及平面幾何ヲ授クヘシ

第八條 博物ハ天然物ニ關スル知識ヲ與ヘ其ノ相互及人生ニ對スル關係ヲ理會セシムルヲ以テ要旨トス

博物ハ重要ナル植物、動物、礦物ニ關スル一般ノ智識並ニ人體ノ構造、生理及衛生ノ大要ヲ授クヘシ

第九條 物理及化學ハ自然ノ現象ニ關スル智識ヲ與ヘ其ノ法則並ニ人生ニ對スル關係ヲ理會セシムルヲ以テ要旨トス

物理及化學ハ重要ナル物理上及化學上ノ現象及定律、器械ノ構造及作用、元素及化合物ニ關スル智識ヲ授クヘシ

第十條 法制及經濟ハ法制及經濟ニ關スル事項ニ就キ國民ノ生活ニ必要ナル智識ヲ得シムルヲ以テ要旨トス

法制及經濟ハ現行法規ノ大要及理財、財政ノ一班ヲ授クヘシ

第十一條 圖書ハ物體ヲ精密ニ觀察シ正確且自由ニ之ヲ畫クノ能ヲ得シメ意匠ヲ練リ美感ヲ養フヲ以テ要旨トス

圖書ハ自在畫用器畫トシ自在畫ニ於テハ寫生畫ヲ主トシ臨畫ヲ加ヘ授ケ又時々自己ノ考案ヲ以テ畫カシメ用器畫ニ於テハ幾何畫ヲ授クヘシ

第十二條 唱歌ハ歌曲ヲ唱フコトヲ得シメ美感ヲ養ヒ心情ヲ高潔ニシ兼テ徳性ノ涵養ニ資スルヲ以テ  
 要旨トス

唱歌ハ單音唱歌ヲ授ケ又便宜ハ輪唱歌、複音唱歌ヲ授クヘシ

第十三條 體操ハ身體ノ各部ヲ均齊ニ發育セシメテ之ヲ强健ナラシメ四肢ノ動作ヲ機敏ナラシメ精神  
 ヲ快活剛毅ナラシメ兼テ規律ヲ守リ協同ヲ尙フノ習慣ヲ養フヲ以テ要旨トス

體操ハ普通體操及兵式體操トシ普通體操ニ於テハ矯正術、徒手體操、啞鈴體操、球竿體操及棍棒體操  
 ヲ授ケ兵式體操ニ於テハ柔軟體操、器械體操、各個教練小隊教練及中隊教練ヲ授クヘシ

第十四條 各學年ニ於ケル各學科目ノ每週教授時數ハ左表ニ依ルヘシ

學科目	學年				
	第一學年	第二學年	第三學年	第四學年	第五學年
修身	一	一	一	一	一
國語及漢文	七	七	七	六	六
外國語	七	七	七	七	六
歷史	三	三	三	三	三
地理	三	三	三	三	三

學科目	學年				
	第一學年	第二學年	第三學年	第四學年	第五學年
數學	三	三	五	五	四
博物	二	二	二		
物理及化學				四	四
法制及經濟					三
圖畫	一	一	一	一	
唱歌	一	一	一		
體操	三	三	三	三	三
計	二八	二八	三〇	三〇	三〇

法制及經濟ヲ缺キタル學校ニ於テハ其每週教授時數ハ外國語、歷史、地理ニ唱歌ヲ缺キタル學校ニ於  
 テハ其ノ每週教授時數ハ圖畫ニ配當スヘシ

第十五條 補習科ノ學科目ハ第一條ノ學科目中ニ就キ之ヲ定ムヘシ

補習ノ各學科目ハ隨意科目ト爲スコトヲ得

第二章 學年、教授日數及式日

第十六條 學年ハ四月一日ニ始リ翌年三月三十一日ニ終ル

學年ヲ分テ三學期トシ第一學期ハ四月一日ヨリ八月卅一日マデトシ第二學期ハ九月一日ヨリ十二月三十一日マデトシ第三學期ハ翌年一月一日ヨリ三月三十一日マデトス

前二項ノ規定ハ補習科ニ關シテハ之ヲ適用セス

第十七條 教授日數ハ每學年二百日以上トス但シ次條ノ場合及特別ノ事情ニ依リ文部大臣ノ認可ヲ受ケタル場合ニ於テハ此ノ限リニアラス

試驗及修學旅行ニ充ツル日數ハ前項ノ日數ニ算入セス

第十八條 傳染病豫防ノ爲必要ナルトキ其ノ他非常變災アルトキハ臨時休業ヲ爲サシムルコトヲ得

前項ノ事由アルトキハ地方長官ハ道廳府縣立以外ノ中學校ノ休業ヲ命スルコトヲ得

前二項ノ場合ニ於テハ事由ヲ具シ遲滞ナク文部大臣ニ届出ツヘシ

第十九條 紀元節、天長節及一月一日ニハ職員及生徒學校ニ參集シテ祝賀ノ式ヲ行フヘシ

### 第三章 編 制

第二十條 中學校ノ生徒數ハ四百人以下トス但シ特別ノ事情アルトキハ六百人マテ之ヲ増スコトヲ得  
分校ノ生徒數ハ三百人以下トス

補習科ノ生徒數ハ前學年ニ於テ當該學校ヲ卒業シタル者ノ數ヲ超ユルコトヲ得ス

前項ノ生徒數ハ第一項ノ生徒數ニ算入セス

第二十一條 學級ハ同學年ノ生徒ヲ以テ之ヲ編制スヘシ

一學級ノ生徒數ハ五十人以下トス

第二十二條 修身、唱歌及體操ハ學年又ハ學級ノ異ナル生徒ヲ合シテ同時ニ之ヲ教授スルコトヲ得

第二十三條 分校ニハ第四學年以上ノ生徒ヲ置クコトヲ得ス

第二十四條 教員ノ數ハ五學級以下ノ學校ニ於テハ一學級毎ニ二人以上トシ五學級以上一學級ヲ加フル毎ニ一人半以上ノ割合ヲ以テ之ヲ増スヘシ但シ一學級毎ニ一人ハ他ノ職ヲ兼テス又他ノ職ヨリ兼テサルコトヲ要ス

### 第四章 設 備

第二十五條 中學校又ハ其ノ分校ニ於テハ校地、校舍、寄宿舎、體操場及校具ヲ備フヘシ但シ文部大臣ノ認可ヲ受ケ寄宿舎ヲ備ヘサルコトヲ得

第二十六條 校地ハ學校ノ規模ニ適應セル面積ヲ有シ道德上並ニ衛生上害ナキ所タルヘシ

第二十七條 校舍ハ教授上管理上並ニ衛生上適當ニシテ質朴堅牢ナランコトヲ要ス

第二十八條 校舍ニハ左ノ諸室ヲ備フヘシ

- 一 通常教室
  - 二 博物、物理及化學、圖書ノ各特別教室
  - 三 講堂
  - 四 圖書室、器械室、標本室
  - 五 職員室、生徒控所、其他必要ナル諸室
- 博物、物理及化學ノ特別教室ハ便宜兼用スルコトヲ得  
講堂、教室ハ便宜兼用スルコトヲ得  
圖書室、器械室、標本室、職員室ハ便宜兼用スルコトヲ得
- 第二十九條 教室ノ大ハ一學級ノ生徒ヲ容ル、ニ足ルヲ度トシ生徒一人ニ付容積百二十立方尺ノ割合ヨリ小ナルヘカラス
- 第二十條 寄宿舎ニハ自修室、寢室、舍監室、食堂、應接所、浴室、盥嗽所、病室等ヲ備フヘシ  
自修室、寢室ハ便宜兼用スルコトヲ得
- 第三十一條 自修室ノ大ハ生徒一人ニ付容積三百二十四立方尺寢室ノ大ハ生徒一人ニ付容積四百八十

六立方尺、自修室、寢室ヲ兼用スルトキハ生徒一人ニ付容積五百六十七立方尺ノ割合ヨリ小ナルヘカラス

第三十二條 體操場ハ分テ屋外體操場及屋内體操場トス

屋外體操場ハ方形若クハ之ニ類スル形狀ニシテ二千坪以上ノ面積ヲ備フヘシ但シ特別ノ事情アルトキハ千坪マテニ減スルコトヲ得

屋内體操場ハ生徒控所ニ兼用シ又ハ土地ノ情況ニ依リ之ヲ設ケサルコトヲ得

第三十三條 校具ハ圖書、器械、器具、標本、型模及表簿等トス

第三十四條 中學校又ハ其ノ分校ニ於テ備フヘキ表簿ノ種類左ノ如シ

- 一 中學校ニ關係アル法令
- 二 學則、日課表、教科用圖書配當表及學校醫視察簿
- 三 職員ノ名簿、履歷書、出勤簿並ニ擔任學科目及時間表
- 四 生徒ノ學籍簿、出席簿、身體檢査ニ關スル表及徵兵猶豫ニ關スル書類
- 五 入學試驗及學年試驗ノ問題、答案及成績表
- 六 資産原簿、出納簿、經費ノ豫算ニ關スル帳簿及圖書、器械、器具、標本、模型ノ目錄

七 往復書類

生徒學籍簿ニハ生徒ノ氏名、族籍、居所、生年月、入學前ノ學歷、入學、轉學、退學、卒業ノ年月日、入學試験ノ有無、轉學、退學ノ事由、徵兵事故、保証人ノ氏名及居所等ヲ記載スヘシ

第一項ノ表簿中生徒學籍簿ハ永久之ヲ保存シ其ノ他ノ表簿ハ五箇年以上之ヲ保存スヘシ

第三十五條 土地ノ情況ニ依リ學校長、舍監及教員ノ住宅ヲ設クヘシ

第三十六條 校舍、寄宿舎ヲ設ケ又ハ之ヲ變更セントスルトキハ圖面ヲ具シ文部大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第三十七條 左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ假校舍ヲ使用スルコトヲ得

一 新ニ中學校又ハ其ノ分校ヲ設置スルトキ

二 非常變災アリタルトキ

前項第一號ノ場合ニ於テ假校舍ヲ使用セントスルトキハ文部大臣ノ認可ヲ受ケ第二號ノ場合ニ於テ假校舍ヲ使用シタルトキハ遲滞ナク文部大臣ニ届出ツヘシ

前項ノ規定ニ依リ認可ヲ申請シ又ハ届出ツルトキハ其事由及使用期間ヲ具シ且前條及次條第四項ノ圖面、分析表ヲ添附スヘシ

第五章 設置及廢止

第三十八條 中學校又ハ其ノ分校ノ設置ニ就キ認可ヲ受ケントスルトキハ左ノ事項ヲ具シ文部大臣ニ申請スヘシ

一 名 稱

二 生徒定員

三 開校年月

四 經費及維持ノ方法

前項ノ事項ノ外公立學校ニ就キテハ地方長官ニ於テ位置ノ認可ヲ申請シ私立學校ニ就キテハ設立者ニ於テ位置ヲ具シ申請スヘシ

第一項第一號乃至第三號及位置ノ變更ハ文部大臣ノ認可ヲ受クヘシ

前二項ノ位置ニ關スル申請ニハ校地ノ面積、地質、屋外體操場ノ區域、面積並ニ附近ノ情況ヲ記載シタル圖面及飲用水ノ定性分析表ヲ添附スヘシ

第三十九條 中學校又ハ其ノ分校ノ廢止ニ就キ認可ヲ受ケントスルトキハ其ノ事由及生徒ノ處分方法ヲ具シ文部大臣ニ申請スヘシ

第四十條 公立中學校ノ費用負擔者ヲ變更シ私立中學校ヲ公立中學校ニ公立中學校ヲ私立中學校ニ變更シ若ハ分校ヲ獨立ノ中學校ト爲サントスルトキハ第三十八條第一項ノ事項ヲ具シ文部大臣ノ認可ヲ受クヘシ

#### 第六章 入學、在學、退學及懲戒

第四十一條 生徒ヲ入學セシムヘキ期間ハ學年ノ始ヨリ三十日以内トス但シ缺員アルトキハ第二學期及第三學期ノ始ヨリ十日以内ニ臨時入學セシムルコトヲ得

第四十二條 第一學年入學志願者中高等小學校第二學年ノ課程ヲ卒ラサル者ニ就キテハ試験ニ依リテ其ノ學力ヲ檢定スヘシ

第一學年入學志願者中高等小學校第二學年ノ課程ヲ卒リタル者ハ其ノ他ノ志願者ニ先テテ入學ヲ許スコトヲ得

高等小學校第二學年ノ課程ヲ卒リタル者ノ數入學ヲ許スベキ人員ニ超過スルトキハ試験ニ依リテ入學者ヲ選拔スヘシ

第四十三條 前條第一項ノ試験ハ國語、算術、日本歴史、地理ニ就キ同條第三項ノ試験ハ國語、算術ニ就キ高等小學校第二學年ノ程度ニ依リテ之ヲ行フヘシ

第四十四條 第二學年以上ニ入學ヲ許スヘキ者ハ相當年齢ニ達シ前各學年ノ課程ヲ卒リタルモノト同等ノ學力ヲ有スル者タルヘシ

前項入學者ノ學力ハ前各學年ノ程度ニ於テ其ノ各學科目ニ就キ試験ニ依リテ檢定スヘシ

第四十五條 中學校生徒ニシテ退學シタル者一箇年以内ニ其ノ中學校ニ再入學ヲ志願シタルトキハ試験ニ依ラスシテ原學年以下ノ學年ニ入學ヲ許可スルコトヲ得

第四十六條 他ノ中學校ニ轉學ヲ志望スル生徒アルトキハ學校長ハ正當ノ事由アリト認めタル場合ニ限り其ノ生徒ノ在學證書及成績表ヲ移轉先學校ニ送付スヘシ

移轉先學校ニ於テハ缺員アル場合ニ限り前項生徒ノ轉學ヲ許可スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ轉學ヲ許可スル生徒ハ試験ヲ行ハスシテ同一學年ニ編入スルコトヲ得

第四十七條 各學年ノ課程修了又ハ全學科ノ卒業ヲ認ムルニハ平素ノ學業及試験ノ成績ヲ考查シテ之ヲ定ムヘシ

試験ハ分テ學期試験及學年試験トシ學期試験ハ第一學期及第二學期內ニ於テ之ヲ行ヒ學年試験ハ學年末ニ於テ之ヲ行フヘシ

試験ハ國語及漢文、外國語、數學、圖畫、唱歌、體操ニ就キテハ之ヲ行ハサルコトヲ得

第四十八條 學校長ハ一學年ノ課程ヲ修了セサル生徒ノ學年ヲ進ムルコトヲ得ス

第四十九條 學校長ハ中學校ヲ卒業セリト認メタル者ニハ卒業證書ヲ授與スヘシ

第五十條 補習科ニ入學スルコトヲ得ル者ハ中學校ヲ卒業シタル者タルヘシ

學校長ハ補習科ヲ修了セリト認メタル者ニハ修業證書ヲ授與スルコトヲ得

第五十一條 學校長ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ニハ退學ヲ命スヘシ

一 性行不良ニシテ改善ノ見込ナシト認メタル者

二 學力劣等ニシテ成業ノ見込ナシト認メタル者

三 引續キ一箇年以上缺席シタル者

四 正當ノ事由ナクシテ引續キ一箇月以上缺席シタル者

第五十二條 生徒退學セントスルトキハ學校長ノ許可ヲ受クヘシ

第五十三條 學校長ハ教育上必要ト認メタルトキハ生徒ニ懲戒ヲ加フルコトヲ得

第七章 補 則

第五十四條 中學校ノ學則ヲ定メタルトキハ遲滯ナク文部大臣ニ届出ツヘシ其ノ之ヲ變更シタルトキ

亦同シ

學則中ニ規定スヘキ事項凡左ノ如シ

一 休業日ニ關スル事項

二 學科課程、教授時數ニ關スル事項

三 試験ニ關スル事項

四 生徒ノ入學、退學、懲戒ニ關スル事項

五 授業料、入學料等ニ關スル事項

六 寄宿舎ニ關スル事項

第五十五條 道廳府縣立以外ノ中學校ニ關シ文部大臣ニ提出スヘキ文書ハ地方長官ヲ經由スヘシ

前項ノ文書中、學校ノ設置及廢止ニ關スル申請ニ就テハ地方長官ハ其意見ヲ具スヘシ

第五十六條 本令中、學校長トアルハ私立學校ニ在リテハ其學校ヲ代表シ校務ヲ掌理スル者ヲ包含ス

第八章 附 則

第五十七條 本令ハ明治三十四年四月一日ヨリ施行ス

第五十八條 本令施行ノ際現ニ中學校ニ在學スル生徒ニ課スヘキ學科目及其ノ程度ニ關シテハ其ノ生徒ノ卒業スルニ至ルマテ仍從前ノ例ニ依ルコトヲ得





英 語	七	綴方 讀解 譯取 書法 會話 習字	三	國史 本邦地 理	三	算術	二	博物 植物	物	及物 理學	三	英 語
七	七	綴方 讀解 譯取 書法 會話	三	國史 外國地 理	三	算術	二	生理衛 生	生		三	英 語
七	七	綴方 讀解 譯取 書法 會話	三	東洋史 全上	三	幾何 代數	二	動物	動		三	英 語
七	七	綴方 讀解 譯取 書法 會話	三	西洋史 地文	三	五	四	化物 學理	四		三	英 語
六	六	綴方 讀解 譯取 書法 會話	三	西洋史	三	四	四	三	三	法制及 經濟	三	英 語
全上	全上	綴方 讀解 譯取 書法 會話	全上	國史 西洋史	全上	全上	全上	全上	全上	法制及 經濟 大意	三	英 語

圖 畫	二	自在畫	二	自在畫	二	全上	一	自在畫		圖 畫	二	英 語
體 操	三	普通體操 兵式體操	三	全上	三	全上	三	全上	三	體 操	三	英 語
唱 歌	二八	當分之ヲ缺ク	二八	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	唱 歌	二八	英 語

第二條 休業日ヲ定ムルコト左ノ如シ

一 祝 日 大祭日

二 日曜日

三 夏季休業 七月廿一日ヨリ九月十日ニ至ル

四 冬季休業 十二月廿六日ヨリ翌年一月七日ニ至ル

五 學年末休業 二週間以内

第二章 入學及退學

第三條 生徒ヲ入學セシムヘキ時期ハ每學年ノ始ヨリ三十日以内ニ於テ其ノ都度學校長之ヲ定ム但シ

第二學期及第三學期ノ始ヨリ十日以内ニ臨時入學ヲ許スコトアルヘシ

第四條 中學校ニ入學スルコトヲ得ヘキモノハ身體健康品行方正ノ者タルヘシ

第五條 第一學年入學志願者中高等小學校第二學年ノ課程ヲ卒リタル者ハ其ノ他ノ志願者ニ先チテ入學ヲ許ス

第六條 入學ヲ許スヘキ生徒ノ人員及入學試驗ノ期日等ハ生徒募集ノ都度之ヲ廣告ス

第七條 在學生徒ニシテ他ノ中學校ニ轉學ヲ志望スル者ハ其ノ事由ヲ具シ學校長ニ願出ツヘシ

第八條 入學志願者ハ左ノ書式ニ依リ入學願書及學業履歷書ヲ差出スヘシ

入學願書式 (用紙左束紙)

入 學 願

某儀入學志願者ノ名 御校第何學年へ入學志願ニ付御許可被成下度尤モ入學ノ上ハ御規則等堅ク相守可申候依テ別紙履歷書相添此段相願候也

住 所 (本籍地) (現住地)

	年 月 日	全 上	族 籍 誰 子 弟 等 入 學 志 願 者 氏 名 印
學 校 長 宛		右父兄若クハ 後 見 人 氏 名 印	
履歷書式 (用紙左束紙)			
學 業 履 歷 書			
住 所 (本籍地) (現住地)		族 籍 誰 子 弟 等 氏 名	
生 年 月			
<p>一何年何月何府縣何郡市(町)(村)(私)立何々小學校ニ於テ尋常小學校ノ教科若クハ高等小學校ノ教科(修業年限何ヶ年)卒業又ハ其ノ何學年修了</p> <p>一何年何月何公(私)立學校ニ於テ何科卒業若クハ其第何學年修了</p>			

一何年何月ヨリ何年何月迄何地ニ於テ何某ニ就キ何學修業  
右之通りニ候也

右 氏 名 印

第九條 入學ノ許可ヲ得タル者ハ學校長指定ノ日ニ父兄若クハ父兄ノ代理人付添出校スヘシ  
第十條 入學ノ許可ヲ得タル者ハ左ノ保證書ヲ差出スヘシ

保證書式

保 證 書

住 所 (本籍地)  
現住地

族 籍 誰 子 弟 等 氏

生 年 月 名

二 錢 入 紙 印

右者今般御校へ入學被差許候ニ就テハ御規則等堅ク爲相守且本人在學中ニ關スル  
事件ハ一切私共ニ於テ引受可申依テ保證書如此候也

住 所 (本籍地)  
現住地

族 籍

年 月 日

(第十一條第二號ノ關係ヲ記入スヘシ) 保證人

氏 名 印

全 上

(全 上) 保證人 氏 名 印

學 校 長 宛

第十一條 保證人ハ二名ニシテ左ノ各號ニ該當スル者ニ限ル但シ學校長ニ於テ不適當ト認メタルトキ  
又ハ第十三條ノ手續ヲ怠リタルトキ及學校長ノ召喚ニ應セサルコトアルトキハ之ヲ取換ヘシムルコ  
トアルヘシ

一 現ニ本縣下ニ居住シ一戸ヲ構ヘ相當ナル家計ヲ立ツル成年以上ノ男子ニシテ且禁治産ノ處分ヲ  
受ケサル者但シ内一名ハ當該學校ヨリ一里以内ニ居住スル者タルヘシ

二 父兄後見人若クハ親族或ハ父兄後見人ニ代リ生徒監督ノ責ヲ負フニ足ルヘキ者

第十二條 保證人改氏名改印若クハ轉居ノ場合ハ其ノ旨速ニ學校長ニ届出ツヘシ

第十三條 保證人死亡若クハ第十一條ノ要件ヲ失ヒタルトキハ直ニ保證書ヲ差換フヘシ

第十四條 生徒ハ半途ニシテ退學ヲ爲スコトヲ得ス若シ止ムコトヲ得サル事情アリテ退學セントスル

トキハ兩保證人ノ連署ヲ以テ學校長ニ願出ツヘシ

第三章 試驗

第十五條 各學科目ノ成績ハ評点ヲ以テ之ヲ表シ定點ヲ一百トス但シ數學科ハ算術、代數、幾何ヲ物理及化學科ハ物理、化學ヲ各一學科目ト見做シ國語及漢文科、英語科ハ左表ノ類別ニ依リ其ノ一類ヲ一學科目ト見做ス

學科目	類別	第一學年					第二學年					第三學年					第四學年					第五學年				
		第一類	第二類	第三類	第四類	第一類	第二類	第三類	第四類	第一類	第二類	第三類	第四類	第一類	第二類	第三類	第四類	第一類	第二類	第三類	第四類	第一類	第二類	第三類	第四類	
國語	第一類	全	上	全	上	全	上	全	上	全	上	全	上	全	上	全	上	全	上	全	上	全	上	全	上	
	第二類	全	上	全	上	全	上	全	上	全	上	全	上	全	上	全	上	全	上	全	上	全	上	全	上	
	第三類	全	上	全	上	全	上	全	上	全	上	全	上	全	上	全	上	全	上	全	上	全	上	全	上	
漢文	第一類	全	上	全	上	全	上	全	上	全	上	全	上	全	上	全	上	全	上	全	上	全	上	全	上	
	第二類	全	上	全	上	全	上	全	上	全	上	全	上	全	上	全	上	全	上	全	上	全	上	全	上	
	第三類	全	上	全	上	全	上	全	上	全	上	全	上	全	上	全	上	全	上	全	上	全	上	全	上	
英語科	第一類	全	上	全	上	全	上	全	上	全	上	全	上	全	上	全	上	全	上	全	上	全	上	全	上	
	第二類	全	上	全	上	全	上	全	上	全	上	全	上	全	上	全	上	全	上	全	上	全	上	全	上	
	第三類	全	上	全	上	全	上	全	上	全	上	全	上	全	上	全	上	全	上	全	上	全	上	全	上	

第十六條 試驗ヲ行フ學科目ハ試驗ノ成績ニ平素ノ學業成績ヲ參酌シテ其ノ評点ヲ定ム  
 試驗ヲ行ハサル學科目ハ平素ノ學業ヲ考查シ第一學期及第二學期ニ在リテハ學期評点ヲ第三學期ニ在リテハ學年評点ヲ定ム

第十七條 學年間成績ハ各學科目ニ就キ學期評点ノ平均点及學年評点ノ和ヲ平分シテ之ヲ定ム

第十八條 學年間成績ニ於テ修身科ハ六十点以上其ノ他ノ學科目ハ四十五点以上ニシテ各學科目ノ通約点六十点以上ヲ得タルモノヲ及第トス

第十九條 疾病又ハ止ムコトヲ得サル事故アリテ試驗ニ缺席シタル者ニ對シテハ學校長ノ見込ニ依リ追試驗ヲ施行スルコトアルヘシ

第二十條 第一學年乃至第四學年ノ課程ヲ修了シタル者ニハ修業證書ヲ第五學年ノ課程ヲ修了シタルモノニハ卒業證書ヲ授與ス其ノ證書式左ノ如シ

修業證書式

<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">校印</div>	修業證書
族籍	氏名

中學校第何學年ノ課程ヲ修了セシコトヲ證ス  
 年 月 日  
 番 號  
 學 校 名  
 生 年 月

卒業證書式

卒業證書

族 籍

氏

生 年 月

校印

中學校ノ全學科ヲ履修シ正ニ其ノ業ヲ卒ヘタリ仍テ之ヲ證ス

年 月 日

静岡縣濱松中學校長位勳爵 氏

名 印

番 號

第四章 授業料及入學料

第二十一條 授業料ハ一箇月金壹圓貳拾錢トス但シ八月分ハ之ヲ徴收セス

第二十二條 授業料ハ學校ノ休業生徒ノ缺席若クハ停學ヲ命シタル場合ニ於テモ免除セサルモノトス

第二十三條 授業料ノ納期ハ毎月二十日限トス

第二十四條 納期内ニ授業料ヲ納メサルモノアルトキハ其ノ出席ヲ停止シ仍翌月廿日ヲ超ユルモ之ヲ

納メサルトキハ生徒學籍簿ヨリ除キ其ノ未納ニ係ル授業料ハ保證人ヨリ徴收スルモノトス

第二十五條 入學料ハ之ヲ徴收セス

第五章 特 待 生

第二十六條 品行端正學業優等ノ生徒十名以内ヲ選拔シテ一學年間特待生ト爲スコトアルヘシ

特待生ノ授業料ハ之ヲ徴收セス

第二十七條 特待生ニシテ品行不良學業懈怠等ノコトアルトキハ其ノ待遇ヲ取消スモノトス

第六章 懲 戒

第二十八條 生徒ニ對スル懲戒ヲ分テ左ノ三種トス

一 戒 飭

二 謹 慎

三 停 學 六箇月以内

第七章 寄宿舍

第二十九條 生徒ハ學校長ノ許可ヲ得テ自宅又ハ保證人ノ宅ヨリ通學スル者ノ外總テ寄宿舍ニ入舎セシム但シ寄宿舍滿員ノトキハ學校長ノ指揮ニ依ルヘシ

第三十條 寄宿舍生徒ノ學資ハ舍監ノ監理ヲ受クヘキモノトス

第八章 服 制

第三十一條 生徒ノ服裝ハ左ノ如シ

品 目	形 狀	色	品 質
帽	佛 蘭 西 形	黑(夏季ハ白色ノ日覆ヲ用フ)但帽下部ニ桃色ノ布巾三分ノ一線ヲ纏フ	羅 紗
帽 章	中學ノ二字ヲ以テ組立タルモノ	金 色	適 宜
夏 上 衣	達摩形、白色櫻摸樣ノ中心ニ中字アル鈕付	藍 鼠 霜 降	小 倉 織
全 袴		上 衣 ニ 同 シ	上 衣 ニ 同 シ

冬 上 衣	達摩形、黑色櫻摸樣ノ中心ニ中字アル鈕付	紺	ヘル若クハ小倉織
全 袴		上 衣 ニ 同 シ	上 衣 ニ 同 シ
靴	短	靴 黑	チ ヤ リ 皮

上衣及袴ノ品質ハ本條規定ノ範圍内ニ於テ學校長之ヲ一定スルコトヲ得外套ハ紺若クハ黒羅紗ニシテ乘馬用ニアラサルモノ其ノ鈕ハ冬上衣ニ同シ

第九章 補習科

第三十二條 補習科ノ修業期間ハ四月一日ヨリ九月三十日迄トス

第三十三條 補習科ノ學科目毎週及教授時數ハ左表ノ如シ

學 科 目	每 週 教 授 時 數
國 語 及 漢 文	三
英 語	七
數 學	五
物 理 及 化 學	三

第三十四條 補習科ノ授業料ハ一箇月金八拾錢トス

第三十五條 補習科ヲ修了シタル者ニハ修業證書ヲ授與ス其ノ證書式ハ第二十條ノ修業證書書式ニ準  
ス

#### 第十章 附 則

第三十六條 明治三十三年四月告示第七十七號靜岡縣中學校學則ハ之ヲ廢止ス

第三十七條 現ニ在學スル第三學年以上ノ生徒ニ課スヘキ學科目及其ノ程度ニ關シテハ其ノ生徒ノ卒業スルニ至ルマテ仍從前ノ例ニ依ルモノトス

#### 第二 公立中學校職員職務規程 (明治三十四年三月廿日) (縣令第廿九號)

第一條 學校長ハ法律命令ニ從ヒ校務ヲ掌理シ所屬職員ヲ統督ス

第二條 教諭ハ生徒ノ教育ヲ擔任シ且之ニ屬スル事務ヲ掌ル

第三條 助教諭ハ教諭ノ職掌ヲ助ク

第四條 舍監ハ學校長ノ命ヲ受ケ寄宿舎ニ關スル事ヲ掌ル

第五條 書記ハ學校長ノ命ヲ受ケ庶務會計ニ從事ス

#### 第三 縣立學校長職務規程 (明治三十四年三月廿日) (訓令甲第十一號)

第一條 學校長ハ職員ノ進退ヲ具申スルコトヲ得但奏任文官ト同一ノ待遇ヲ受クル教諭ノ進退ニ付キテハ意見ヲ具シテ縣知事ニ上申スルコトヲ得

第二條 左ノ事項ハ學校長之ヲ專行スヘシ但第四號乃至第六號ノ事項ハ施行後一週日以内ニ縣知事ニ報告スヘシ

一 教員ノ學科擔任及事務分掌ヲ定メ及事務員ノ分掌ヲ命スル事

二 規則ノ施行上必要ナル細則ヲ設クル事

三 雜給支辨ノ雇員以下ノ進退ニ關スル事

四 職員以下ノ除服出仕及請暇ニ關スル事

五 生徒募集ニ關スル事

六 經伺ノ暇ナキ緊急ノ場合ニ於テ一日間臨時休業ヲ爲ス事

第三條 左ノ事項ハ學校長ニ於テ縣知事ノ許可ヲ經テ後施行スヘシ

一 職員以下出張ニ關スル事

二 臨時休業スル事

三 一泊以上ノ旅行ニ生徒ヲ引率スル事

四 右之外例規ナキ重要ノ事件ヲ處置スル事

第四條 學校長ハ生徒ニ退學又ハ停學ヲ命シタルトキハ其ノ事由ヲ具シ縣知事ニ報告スヘシ

### 第四章 内規

#### 第一 生徒心得

第一條 本校生徒ハ左ノ兩節ヲ遵守スベシ

#### 第一節

第一項 身體ヲ練リ智德ヲ磨キ立身ノ基礎ヲ建ツベキ事

第二項 廉恥ヲ重ンジ志操ヲ固クシ浮薄ノ行爲ヲナサザル事

第三項 禮讓ヲ貴ヒ容儀ヲ正フシ傲慢ノ舉動アルヘカラザル事

第四項 衣食ヲ節シ儉朴ヲ守リ學生ノ身分ヲ怠レザル事

第五項 親睦ヲ計リ協同ヲ旨トシ純良ノ校風ヲ保ツベキ事

#### 第二節

第一項 學校長及職員ヲ敬重シ能ク其命令ヲ守ルベシ

第二項 學校長及職員ニ對シテハ勿論生徒互ニ敬禮ヲ行フベシ (敬禮法ハ別ニ定ム)

第三項 教室内外ノ整頓清潔ニ注意スベシ

第四項 學校ノ物品ヲ破損汚染スベカラズ若シ犯シタル時ハ賠償セシムル事アルベシ

第五項 昇校ヨリ授業終止スル迄ハ門外ニ出ヅベカラズ不得止時ハ職員ノ許可ヲ請フベシ

第六項 示達及報告等ハ速ニ承知スベキモノナレバ常ニ揭示場ニ注意スベシ

第七項 團體ヲ設ケ集會ヲ開キ又ハ金錢ヲ募集セントスル時ハ豫メ學校長ノ許可ヲ請フベシ

第八項 學校及其往復中規定外ノ服裝ヲナスヘカラズ不得止時ハ學校長ノ許可ヲ請フベシ

第九項 外出ニハ制服制帽ヲ用ヒ若クハ制帽ヲ冠シ及着袴スベシ

第二條 本校生徒ハ左ノ所爲アルヲ禁ズ

第一項 學校長又ハ職員ニ對シ抵抗強迫ノ舉動ヲナス事

第二項 課業ノ妨害ヲナシ又ハ合同缺課スル事

第三項 試験ノ際不正ノ行爲ヲナス事

第四項 喫煙飲酒ヲ爲ス事

第五項 料理店又ハ飲食店等ニ立寄ル事



第六項 演劇場若クハ寄席ニ立入ル事

第七項 漫リニ糸竹ヲ玩ビ鄙俗ナル詩歌ヲ唱吟スル事

第八項 金錢ヲ貸借スル事

第九項 右ノ外學生ノ本分ニ反シ學校ノ体面ヲ汚ス所業ヲナス事

第三條 前二條何レノ項ニ違反スルトモ校則第廿八條ニ照ラシ相當ノ處分アルベシ

第四條 懲戒處分ヲナシタル時ハ倫理ノ点数ヲ減シ校内ニ揭示シ父兄保證人ニ告知ス

第二 生徒敬禮法

第一條 學校生徒タルモノハ何レノ時何レノ場合ヲ論セズ師長（師長トハ校長職員並ニ相當ノ身分アル人ヲ云フ）ニ對シテハ必ス敬禮ヲ行ヒ生徒ハ互ニ敬禮ヲナスモノトス

第二條 生徒ノ敬禮ヲ分テ二トス即左ノ如シ

甲 室内ノ敬禮

乙 室外ノ敬禮

甲 室内ノ敬禮ヲ左ノ各項ニ分ツ

第一項 生徒室内ニ入ルキハ戶外ニ於テ先ツ帽ヲ脱スベシ

第二項 生徒室内ノ敬禮ハ敬スベキ人ニ對シ正面シ姿勢ヲ正シ其眼ニ注目シテ体ノ上部ヲ少シク

前ニ傾ク若シ帽ヲ手ニ持ツキハ右手ニテ其前庇ヲ摘ミ之ヲ垂直ニ提ケ帽ノ内部ヲ右股ニ對セシ

ム

第三項 生徒師長ノ居室ニ入ルキハ其席ヲ離ル、凡五六歩ノ所ニ於テ敬禮ヲ行フベシ

第四項 生徒証書賞品賞狀辭令書ノ類ヲ受タルトキハ前項ノ法ニ據リ敬禮ヲ行フノ後適宜ニ前進

シ帽ヲ左脇ニ挟ミ右手ヲ以テ拜受シ左手ヲ副テ披見シ直ニ之ヲ收メ舊位ニ復シテ再ビ敬禮ヲ行

ヒ退去スベシ

第五項 師長生徒ノ居室ニ來ルキハ椅子ヲ離レテ立チ敬禮ヲ行フモノトス

第六項 生徒室内ニ於テ師長ニ談スルトキハ椅子ヲ離レテ立チ姿勢ヲ正スベシ但シ師長許可スレ

ハ着席スルモ妨ケナシ

第七項 生徒教場ニ於テ敬禮スルキハ「直レ」ノ號令ニテ其場ニ立チ姿勢ヲ正シ禮ノ号令ニテ頭ヲ

前方ヘ傾ケタル後「休メ」ノ号令ニテ着席スヘシ

乙 室外ノ敬禮ヲ左ノ各項ニ分ツ

第一項 生徒室外ノ敬禮ハ舉手注目トス其法姿勢ヲ正シ右手ヲ舉ケ諸指ヲ接シテ食指ト中指トヲ

帽ノ前底ノ右側ニ當テ掌ヲ稍外面ニ向ケ肘ヲ肩ニ齊クシ受禮者又ハ敬禮スベキ者ニ注目スヘシ但シ制服制帽ヲ着ケザルトキハ脱帽敬禮スベシ

第二項 室外ノ敬禮ハ受禮者ト遠隔シ在ルモ其師長タルヲ識別スレバ必ズ之ヲ行フベシ

第三項 生徒師長ニ行逢ヒ又ハ其傍ヲ通過スルキハ凡六歩前ヨリ姿勢ヲ正シ凡三歩ノ所ニ停止シ敬禮ヲ行フベシ

第四項 生徒停止セル時ニ方リ師長其傍ヲ通過スルトキハ先ツ師長ノ方ニ面シ敬禮ヲ行フベシ

第五項 生徒停止シアル師長ノ許ニ至ルトキハ其師長ヲ距ル凡五六歩ノ所ニ於テ停止シ敬禮ヲ行フベシ

第六項 生徒途上ニ於テ 行幸行啓ニ遇フキハ前驅ノ稍前ヨリ道路ノ一側ニ停止正面シ車駕六歩前ニ近クトキ敬禮ヲ行ヒ六歩過ギ去ル迄此姿勢ヲ保ツベシ

第七項 生徒乗車ニテ師長ニ遇フキハ乗車ノ儘姿勢ヲ正シ敬禮ヲ行フモ妨ケナシ

第八項 生徒師長ト全行スルトキハ其左側或ハ後方ニ就クヲ禮トス但誘導者ハ此限りニアラズ

第九項 生徒物件ヲ提携シ右手ヲ舉クル能ハザルキハ受禮者ニ對シ其儘停止シ頭ヲ少シク受禮者ノ方ニ向テ注目シテ敬禮ノ意ヲ表スベシ

第三條 生徒相互ノ敬禮ハ前條ニ準シ先ツ下級者ヨリ始ムルモノトス但シ停止スルヲ要セズ

第三 當直心得

第一條 當直ハ校長奏任待遇ノ教諭及舎監ヲ除キ職員一名輪番ヲ以テ之ヲ勤ム

第二條 當直員ハ特ニ御眞影室ニ注意スベシ若シ非常事變ノ場合ハ御眞影並勅語謄本奉衛手續キニ依ルベシ

第三條 當直順番ハ席次ヲ以テ之ヲ定メ校長ヨリ當直員ヘ通知スルモノトス

第四條 當直ハ常日及休暇日ノ二種トス常日ハ毎日退校定時ヨリ翌日昇校定時迄トス休暇日ハ當日ノ昇校定時ヨリ翌日昇校定時迄トス

第五條 校務ノ爲又ハ父母ノ祭日忌引等ニ依リ宿直シ難キ者ハ之ヲ除ク

第六條 疾病又ハ事故ノ爲當直シ難キ特別ノ事情アルトキハ代理當直者ヲ定メ校長ノ承認ヲ經ベシ

第七條 當直員ハ其時限内一切取締ノ責ニ任シ小使ヲ指揮監督スベシ

第八條 當直室ニ備置クベキ簿冊物品左ノ如シ

一 宿直日誌 一 職員宿所名簿 一 提燈 一 鍵箱 一 文書箱

第九條 當直員ニ於テ受領シタル文書等ハ都テ當直日誌ニ登記シ左ノ區別ニヨリ所理スベシ

一 校長宛ノ至急ヲ要スル文書ハ直ニ送附スベシ

一 電信ハ即時受領者ニ送附スベシ

一 前項以外ノ文書ハ文書箱ニ納メ事務室ニ差出スベシ

第十條 當直員ハ其取扱タル一切ノ事件ヲ日誌ニ記載シ署名捺印シ校長ニ差出スベシ

第十一條 備置キノ品ハ次ノ當直員ニ渡シ且口授スベキ事項アレバ遺漏ナク申繼グベシ

第十二條 學校及附近ニ非常事變アリタルハ其旨直ニ校長及最寄職員ニ急報シ應急ノ取計ヒラナスベシ

第十三條 非常事變ノ爲メ其災害ノ自家ニ迫ル場合又ハ非常ノ事故生ジタル時ハ當直員臨時委託シテ退校スル事ヲ得

第四 御眞影並勅語謄本奉衛手續

第一條 御眞影並勅語謄本奉置ノ場所ハ講堂上段ノ間トシ宿直員ニ於テ之ヲ保管スルモノトス

第二條 御眞影並ニ勅語謄本ヲ奉置セル場所ハ宿直員ニ於テ學校内外巡視ノ際特ニ注意ヲ加フヘキモノトス

第三條 天災地變等ニ際シ 御眞影並ニ勅語謄本ニ危険ノ虞アリト誤ムルハ宿直員ハ勿論其他學

校職員ニ於テ直チニ奉遷場ヘ奉遷スベキモノトス

第一奉遷場 濱名郡役所

第二奉遷場 元城町報徳館

第四條 前條ノ奉遷場ニ奉遷シタルハ必ず警衛者ヲ置クベキモノトス

第五條 御眞影並ニ勅語謄本ヲ奉置セル室ニハ猥リニ出入ヲ禁ジ洒掃等ノコトハ校長若クハ教諭(奏任待遇)其任ニ當ルモノトス

第五 級 監 規 程

第一條 各學級ニ級監一名ヲ置キ學年ノ始メニ於テ教員中ヨリ校長之ヲ選定ス

第二條 級監ハ所屬學級ニ關スル左ノ事項ヲ取扱フモノトス

一 生徒出欠簿整理ニ關スル件 (簿冊ノ調製記名、出欠ノ調査等)

一 生徒和服着用ニ關スル件 (着用ノ許否、事務員ヘノ通知、代用服ノ場合)

一 教室整理ノ件 (硝子ノ破損、机腰掛、塗板等ノ破損、清潔法)

一 試験成績表調製ノ件

一 生徒ノ操行、風規取締ニ關スル件

一右ノ外臨時ニ起リシ事項 (級會ニ關スル件、特別ノ命令通知、級ニ關スル相談事)

第三條 級監ハ時々其取扱ヒタル事項ヲ教務主幹ニ報告スルモノトス

第四條 級監不在ノキハ假級監ヲ置キ其事務ヲ代掌セシム

第六 級長規程

第一條 各學級ニ級長及副級長各一名ヲ置キ級監之レヲ統督ス

第二條 級長及副級長ハ各學級ヨリ候補者各三名宛ヲ互撰シ校長其中ヨリ命スルモノトス

第三條 級長及副級長ノ服務期限ハ一學年間トシ每學年ノ始メニ於テ改撰スルモノトス

但必要アルキハ中途改撰スルコトアルベシ

第四條 級長及副級長ハ級監ノ命ヲ受ケテ級中ノ秩序ヲ維持シ又校内巡視ヲ補助シテ校内ニ於ケル其生徒ノ操行風紀ヲ取締ルモノトス

第五條 級長及副級長ハ職務施行上ニ關シ意見アルキハ合議ノ上級監ニ申出ヅル事ヲ得

第六條 副級長ハ級長ヲ補佐シ級長不在ノ場合ハ之レガ代理ヲ務ムルモノトス

第七條 正副級長不在ノ時ハ上席者(成績順)ヲ以テ假リニ其事務ヲ取ラシム

第七 校内巡視規程

第一條 校内ニ於ケル一般生徒ノ操行風規取締ノ爲メ校内巡視ヲ置ク

第二條 校内巡視ハ三部ニ分チ既定ノ順序ニヨリ一週間毎ニ之ヲ行フモノトス

第三條 各部ニハ部長及部員若干名ヲ置キ校長之ヲ撰定ス

第四條 巡視當番部員ハ當日起リタル事項ヲ及之ニ對スル意見アルキハ簿冊ニ記入シテ部長ニ差出シ

部長ハ其週ノ終リニ認印ノ上之ヲ教務主幹ニ差出スモノトス

第五條 教務主幹ハ認印ノ上毎月一回巡視簿ヲ校長ニ差出スモノトス

但緊急事件起リタルキハ直ニ報告スルモノトス

第八 學友團規則

第一條 學友團ハ本校生徒一般ヲ以テ編成シ學級組別ニヨリテ之ヲ班ニ分ツ

第二條 學友團ニ左ノ役員ヲ置ク任期ハ一學年トス

一 監督 一名 一 副監督 二名 一 班長 若干名(各組一名) 一 副班長 若干名(全上)

第三條 正副監督ハ職員中ヨリ校長之ヲ定ム

第四條 正副班長ハ各班ヨリ候補者各三名宛ヲ撰ビ其中ヨリ監督之ヲ定メ校長ノ認可ヲ得ルモノトス

第五條 監督ハ全團ヲ統御シ主トシテ校外ニ於ケル生徒ノ操行風儀ヲ取締ルモノトス

第六條 副監督ハ監督ヲ補佐シ監督不在ノ時ハ其代理ヲ務ムルモノトス

第七條 正副班長ハ正副監督ノ命ヲ受ケ所屬班員ヲ監視シテ學生タルノ本分ヲ確守セシムルモノトス

第八條 班長ハ副班長ト合議ノ上毎週一回視察ノ狀況ヲ監督ニ報告スルモノトス

但緊急ノ場合ハ直ニ報告スルモノトス

第九條 監督ハ副監督ト合議ノ上毎月一回視察ノ狀況ヲ校長ニ報告スルモノトス

但緊急ノ場合ハ直ニ報告スルモノトス

第十條 毎學期一回若シクハ臨時ニ役員會議ヲ開キテ事務ノ打合セヲナスモノトス

但職員ハ臨席シテ意見ヲ述ルモ妨ゲナシ

第九 職員會議規程

第一條 職員會議ハ毎月三回(一ノ日)開會シ休暇中ハ休會スルモノトス

第二條 緊急ヲ要スル重大ナル問題アルトキハ臨時會ヲ開クコトアルベシ

第三條 職員會議ニ附スベキ事項ハ左ノ如シ

一 内規制定又ハ改正ノ件

一 一般教授管理ニ關スル件

一 生徒學業成績ニ關スル件

一 生徒操行點ニ關スル件

一 生徒賞罰ニ關スル件

一 生徒取締ニ關スル件

一 運動會又ハ旅行ニ關スル件

一 右ノ外校長ヨリ諮問サレシ件

第四條 校長ハ生徒取締ニ關シ時々左ノ役員ヲ以テ特別會議ヲ開ク事アルベシ

一 教務主幹

一 舍監主任

一 校内巡視部長

一 學友團監督及副監督

第五條 會議ハ總テ校長ヲ以テ議長トシ校長不在ノトキハ上席教諭ヲ以テ之ニ代ラシム

第六條 決議ノ實行ハ校長ヨリ之ヲ通知スルモノトス

第十 受持教員會規程



第十二 生徒欠席ニ關スル規程

- 一 欠席届ハ舍生ハ舍監ヨリ通學生ハ父兄又ハ保證人ヨリ受持級監ニ差出スベキヲ
- 一 欠席届ハ級監ニ於テ正當ノモノト見做シタル上出欠簿ニ檢印ヲ捺スヲ
- 一 毎月末級監ハ欠席ヲ調査シ無届欠席者ハ校長ニ報告スベキヲ
- 一 欠席届ハ欠席ノ後其當日ヨリ三日ヲ經過シタル時ハ無効タルベキヲ
- 一 引續キ欠席スルモノハ一週間毎ニ届出スベキヲ
- 一 數日間欠席ノ後届出ルモノハ前二日分ノミ有効ニシテ他ハ無効タルベキヲ
- 一 如何ナル理由ニヨルトモ或一二ノ時間ヲ欠席シタル時或ハ欠席セントスル時ハ豫メ口頭ヲ以テ級監ニ届出スヘシ然ラサレバ其后欠席届ヲ差出スモ無効タルベキヲ
- 一 授業時間ニ遅刻セシモノハ教室ニ入ルヲ禁ズ從テ欠課ト見做ス尤モ試験ノ際ハ問題揭示ノ前ナレバ入室ヲ許可スルヲ(遅刻ノ分界ハ授業開始ヲ以テス)

第十三 公認下宿ニ關スル内規

- 一 風紀衛生ニ害ナキ場所タルヲ要ス
- 一 本校職員中ニ下宿者アルヲ要ス

一 四畳半二人ノ割合(各室押入付)ニテ貳拾名以上下宿セシムル準備ヲ要ス

一 本校生徒ノ外下宿セシムベカラス

一 食料變更毎ニ學校長ノ認可ヲ經ベシ

一 下宿者ニ異動アル毎ニ届出スヘシ

一 可成浴場ヲ設クルヲ要ス

第十四 寄宿舍細則

第一條 入舍セント欲スル者ハ左ノ書式ノ願書ヲ出スベシ

入 舍 願

私儀入舍仕度候ニ付御許可被成下度此段願上候也

年 月 日

何 年 級 何

誰 印

年 月 日 生

静岡縣立濱松中學校長 何 誰 殿

第二條 入舍ノ許可ヲ得タル者ハ左ノ書式ノ証書ヲ出スベシ

在 舍 証 書 (用紙美濃野紙)

印紙

私儀今般入舍御許可相成候ニ付テハ殊ニ品行ヲ慎ミ御舍則堅ク可相守候此段相誓候也

宿所

某子弟族籍

第何年級

年月日

何之誰印

年月日生

静岡縣立濱松中學校長 何 誰殿

前文何誰在舍中本人身上ニ關スル一切ノ事件ハ私共ニ於テ引受可申候乃証書如此候也

宿所

何府縣族籍(戸主ナラザレバ誰子弟等)

父兄何誰印

同

保証人 何 誰印

第三條 退舍セント欲スル者ハ左ノ書式ノ願書ヲ出スベシ

退舍願

何年級 何 誰

右之者何々ノ事由(詳細ナルヲ要ス)ニ依リ退舍爲致度候間此段願上候也

父兄又ハ保証人

年月日 何 誰印

静岡縣立濱松中學校長 何 誰殿

第四條 退舍ハ父兄或ハ保証人ヨリ其退舍ノ事由ヲ聞糺タル上之ヲ許可スルモノトス

第五條 生徒取締ノ爲メ本舍ニ正副部長及室長ヲ置ク其職務ハ別ニ定ムル所ニ據ル

第六條 自修室ニ於テ遵守スベキ事項左ノ如シ

一 自修室ニ於テハ各自其坐位ニ着キ他人ノ席ヲ犯スベカラズ

二 自修時間中ハ専ラ課業ニ精勵シ他事ヲナスコトヲ許サズ



- 三 自修時間中ハ専ラ靜肅ヲ旨トシ他人ノ勉學ヲ妨グベカラズ
  - 四 自修時間中ハ猥ニ室外ニ出或ハ他室ニ入ルヲ禁ズ
  - 五 自修時間中ハ專心勉學シ猥ニ談話シ若クハ音讀ヲ禁ズ
  - 六 學術及服裝ニ關係ナキ物品ハ舍監ノ許可ヲ得ズシテ室内ニ容ルヽヲ許サス
  - 七 室内ノ物品ハ総テ之ヲ整頓シ置クベシ
- 第七條 寢室ニ於テ遵守スベキ事項左ノ如シ
- 一 就寢ノ號音ニテ直チニ寢室ニ入ルベシ
  - 二 就寢後ハ総テ靜肅ヲ旨トシ他人ノ安眠ヲ妨グベカラズ
  - 三 就寢時間ノ外猥リニ室内ニ入ルヲ禁ス
  - 四 室内ノ物品ハ之ヲ整頓シ置クベシ
  - 五 毎朝起床後二十分寢具ヲ整頓シ掃除盥嗽ヲナシ點檢ヲ受クベシ
- 第八條 食堂ニ於テ遵守スベキ事項左ノ如シ
- 一 食事ノ號音アルトキハ一同徐カニ食堂ニ赴キ各自ノ坐席ニ着キ一禮ヲナシ食ニ就キ食ヲ了ヘタル者ハ一禮シテ食堂ヲ退クベシ

- 二 食事時限外ハ猥ニ食スルヲ許サス
  - 三 何等ノ事アルモ賄方等ニ對シ直接ニ談判スルヲ得ス
- 第九條 湯呑室ニ於テハ能ク火ノ元ニ注意シ室内備付ノ器具ハ使用ノ後一定ノ場所ニ置クベシ
- 第十條 病室ニ於テ遵守スベキ事項左ノ如シ
- 一 醫員ノ診察ヲ受ケントスルトキハ其旨舍監ニ申出ヅベシ
  - 二 病狀ニヨリ食物ヲ室内ニ入レントスルトキハ舍監ノ許可ヲ受クベシ
  - 三 療養ニ關係ナキ物品ハ室内ニ容ルヽヲ禁ズ
  - 四 病者ヲ看護シ又ハ見舞ハントスル者ハ舍監ノ許可ヲ受ケ室内ニ入ルベシ
- 第十一條 人員點檢ヲ分テ朝點檢夕點檢臨時點檢ノ三トシ舍監之ヲ行フ
- 一 朝點檢ハ起床後十分夕點檢ハ毎外出時限ノ終及就寢三十分前臨時點檢ハ臨時之ヲ行フ
  - 二 各點檢ノ際ハ部長ノ號令ニ應ジ所定ノ場所ニ整列シ舍監ノ來ルヲ待テ部長ハ現員ノ報告ヲナシ次ニ部下ニ號令ヲ下シテ番號ヲ唱ヘシム點檢ノ始終部員ハ部長ノ號令ニ從ヒ敬禮ヲナシ舍監退クノ後解散スベシ
  - 三 朝點檢ノ際病氣ニテ起床シ難キ者アルトキハ其旨室員ヨリ舍監ニ届出ヅベシ

第十二條 毎日起床點檢後室長室員ヲ指揮シテ各室ノ掃除ヲ爲シ又毎土曜日ニ部長ハ室長ヲ室長ハ室員ヲ督シテ各室ノ大掃除ヲ爲シ舍監ノ檢査ヲ受クベシ

第十三條 毎學期一回舍監ノ指揮ニ從ヒ室員ノ組換ヲナスベシ

第十四條 自修時間外ト雖モ放歌吟聲奔走及高聲ノ音讀等凡テ他人ノ勤學ニ妨ゲアル舉動ヲナスベカラス

第十五條 汚穢ノ衣服什器ヲ持用スルコトナク務メテ潔白清淨ニスベシ

第十六條 病氣ニテ欠課セシモノハ其日ノ外出ヲ禁ス

但シ病症ニ由リ散步運動ヲ要スルモノハ醫証ニ據リ許可ス

第十七條 學校休業中ハ在舍スルヲ許サス

但シ始業一日前ニ必ス歸舍スベシ

第十八條 病氣或ハ事故ニテ歸宅シ又ハ下宿スル等續キテ六十日以上ニ及ブ者ハ寄宿舎ノ名籍ヲ除ク

第十九條 金錢衣服等ヲ貸借スベカラス

第二十條 猥ニ集會雜談シ或ハ猥褻ノ小説稗史ヲ讀ミ無益ノ圖書其他玩弄物ヲ取扱フ可ラス

第二十一條 外出ノ際ハ制限制帽ヲ用ヒ若シクハ制帽ヲ冠シ及着袴シ殊ニ風儀ヲ正フシ言語ヲ慎ミ苟

モ學生ノ耻ヅベキ所行アルベカラス

第二十二條 病氣ニテ缺課スル者ハ舍監ニ届出ツベシ

第二十三條 病氣又ハ止ムヲ得サル事故ニテ歸宅シ又ハ下宿セント欲スルモノハ保証人若クハ父兄ヨリ其事由ヲ詳記シテ願出ベク其期日ハ三十日ヲ越ユベカラス

但シ期滿チテ猶歸舍スルコト能ハザルトキハ更ニ追願スベシ

第二十四條 生徒ハ猥リニ小使室又ハ賄室等へ入ルベカラス

第二十五條 外來ノ文書ハ總テ舍監ヨリ交付スルヲ以テ小使等ヨリ直ニ受取ルベカラス

第二十六條 外出ノ際ハ舍監室ニ備ヘタル自己ノ名札ヲ裏ニシ歸舎ノ節掛ケ直スベシ

第二十七條 通學生ヲシテ安ニ舍内ニ入ラシムベカラス

但シ止ムヲ得ザル事故アルトキハ舍監ノ許可ヲ乞フベシ

第二十八條 臨時ノ揭示又ハ口達ハ堅ク守ルベシ

第二十九條 寄宿生ニシテ舍ノ目的ニ背キ其本分ヲ守ラザルモノハ譴責ヲ加ヘ尙改メザルモノハ退舎

セシメ父兄若シクハ保証人ノ宅ヨリ通學セシム

第三十條 前條ニヨリ退舎セシムルニハ豫ジメ其由ヲ父兄及保証人ニ通報スベシ

第卅一條 本舍賄料ハ一ヶ月金四圓内外トシ室長ニ於テ順番ニ炊事ヲ指揮シ部長之レヲ監督スルモノトス

但諸品買上ヲ要スル時ハ通帳ヲ以テシ部長之レヲ檢スベシ舍監ハ毎月末明細書ヲ舍生一同へ報告シ且ツ其支拂方ヲ取扱フ者トス

第卅二條 寄宿舍賄料及授業料等ニ要スル金錢ノ必要アルトキハ直チニ父兄等へ通知送金セシメ生徒ヲシテ直接ニ金錢ノ授受ヲナサシメザルモノトス

第卅三條 寄宿生徒學費ノ出納ハ左ノ事項ニ依ルベシ

- 一 寄宿生徒ハ學校長ノ指示シタル銀行若クハ預リ人ニ預ケ入ルモノトス
- 二 生徒ハ學費檢閲帳ヲ製シ金員ノ支出ヲ要スルトキハ物品ノ購求ニ就テハ其物品ノ品質數量代價(代價ヲ前知シ難キモノハ見積代價)ヲ其他ノ支出ニ就テハ其件事由ヲ明記シ舍監ノ檢印ヲ受クベシ
- 三 生徒預金ヲ引出サントスル時ハ學費檢閲帳ヲ銀行等ニ持參シ需要ノ金額ヲ請求スベシ
- 四 舍監ニ於テ支出金員ノ檢閲ヲ命シタル時ハ生徒ハ物品ノ購求ニ就テハ其物品其他ノ支出ニ就テハ受取証ヲ舍監ノ檢閲ニ供スヘシ

五 舍監ハ學費ノ支出ヲ調査シ必要ト認ムルトキハ銀行等預金通帳引出金額ニ檢閲濟ノ認印ヲナス

ベシ

六 生徒歸郷ノトキハ必ス學費預金通帳ト學費檢閲帳トヲ持參シ父兄ノ檢閲ヲ受クベシ

第卅四條 舍内取締ノ爲メ生徒中ヨリ左ノ役員ヲ置キ左ノ職務ヲ行ハシム

部 長

第一項 生徒寄宿舍取締ノ爲メ舍内ヲ若干部ニ分チ各部ニ正副部長各一名ヲ置ク

第二項 正副部長ハ舍生中學術優等品行端正ノ者ヨリ二倍ノ候補者ヲ撰舉セシメ學校長ハ之ニ就キ正副各三名ノ部長ヲ指名ス其當撰者不適任ト認ムルトキ又ハ撰舉セザルトキハ學校長直ニ指命スルモノトス

第三項 正副部長ハ其任期ヲ一學年間トス

第四項 部長ハ舍監ニ屬シ次ニ掲グル職務ヲ掌理ス

第五項 副部長ハ部長ヲ補佐シ部長事故アル時ハ代理ヲナスモノトス  
部長職務

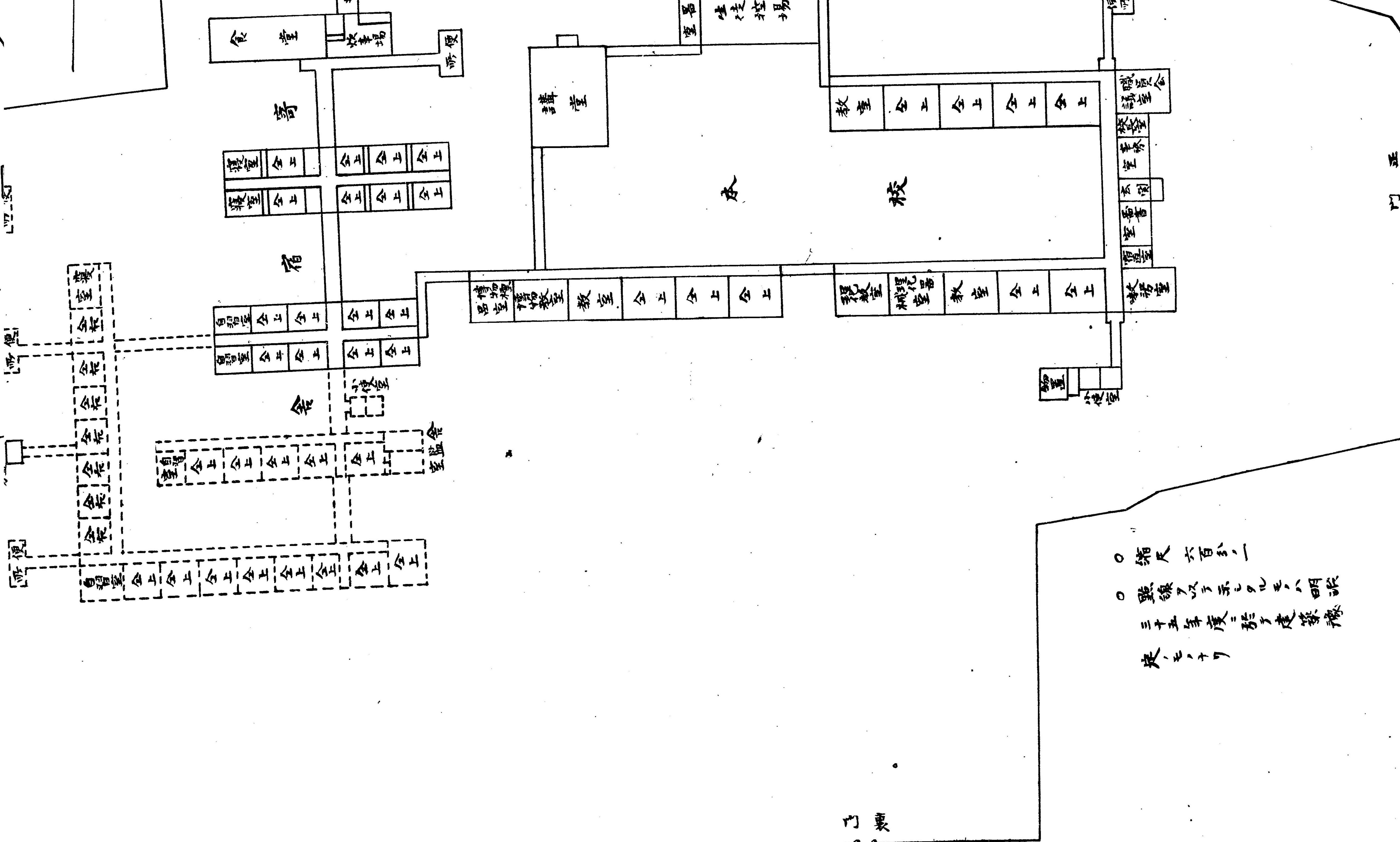
第六項 室長ヲ指揮シテ舍則ヲ勵行セシムル事

- 第七項 時々舎ノ内外ヲ巡視シテ之ガ取締ヲナシ舎友ノ動作ヲ查察スルコト
  - 第八項 起床就寢喫飯ノ時間ハ各室ニ注意シ不同ナキ様注意スベキ事
  - 第九項 臨時ノ揭示又ハ口達ヲ部下ニ通スル事
  - 第十項 喫飯人員ノ調査ヲナス事
  - 第十一項 炊事ノ監督ヲナス事
  - 第十二項 毎土曜日ニ室長ヲ指揮シテ各室ノ大掃除ヲナサシムル事
  - 第十三項 右ノ外舎監ヨリ命ゼラレタル事項
  - 第十四項 部長ハ職務上其責ニ任ス
- 室長
- 第十五項 每室ニ各一名ノ室長ヲ置ク
  - 第十六項 室長ハ生徒中學術優等品行端正ノ者ヨリ舎監之ヲ指名スルモノトス
  - 第十七項 室長ハ其任期ヲ一學年間トス
  - 第十八項 室長ハ舎監及部長ニ屬シ左ニ掲クル職務ヲ掌理ス
  - 第十九項 室長ハ舎監及部長ノ指揮ヲ受ケ其室員ノ紀律ヲ保ツモノトス

- 第二十項 毎日起床點檢後室員ヲ指揮シテ其室ノ掃除ヲナシ又毎土曜日ニ部長ノ指揮ヲ受ケ室員ヲ指揮シ其室ノ大掃除ヲナスベシ
  - 第二十一項 部長ノ監督ヲ受ケ順番ニ炊事ヲ指揮スルモノトス
  - 第二十二項 右ノ外舎監及部長ヨリ命セラレタル事項
  - 第二十三項 舎監ニ申出ノ時ハ凡テ部長ヲ經由スヘシ
  - 第二十四項 室長ハ職務上其責ニ任ス
- 週番室長
- 第二十五項 每週順次ニ室長中ヨリ週番室長ナルモノヲ命ジ各室内ノ掃除及欠課等ノ事ヲ督セシム
  - 第二十六項 週番室長ハ舎監ノ指名スル者トス
- 第五章 敷地及建物
- 静岡縣立濱松中學校ハ濱松町名殘ニアリテ三方原ノ東隅ニ位ス其ノ敷地總坪數一萬〇三百八十四坪九合六勺ニシテ建物總坪數一千一百三十五坪ナリ之ヲ區分スレバ左ノ如シ
- 一 前面校舍一百廿一坪教室三棟計四百坪講堂六十九坪生徒扣所六十六坪銃器室十二坪小使室八坪物置

七坪五合便所二棟計十四坪及渡廊下七ヶ所計五十四坪ニテ合計七百五十一坪五合ナリ  
一寄宿舎ハ自修室百十四坪寢室一百廿六坪食堂四十四坪賄室廿六坪井戸端四坪浴室十八坪物置八坪便  
所八坪及渡廊下三ヶ所計三十五坪五合ニテ合計三百八十三坪五合ナリ  
右ノ外約一千坪ノ寄宿舎副築工事ニ取掛リ居レリ而シテ体操場ハ約三千坪ニシテ前庭中庭遊戯場其他  
ノ空地合計五千坪以上アリ





○ 縮尺 六百分一  
 ○ 點線以下を示すものは、明談  
 三十五年度に於て建築機  
 定、七、十、一

内装

## 第六章 職員及役員

### 第一 現職員

倫理、化學	校長	竹下莊一郎	(石川)
倫理、歷史、英語	教諭	末久喜十郎	(北海)
英語	全兼舎監	中川七郎	(長野)
博物	教諭	小幡勇治	(岐阜)
物理、數學	全	佐藤徳八	(新潟)
地理、歷史	全	山下四郎	(静岡)
數學	全	寺田伊八	(静岡)
英語	全兼舎監	佐々瑗二郎	(長崎)
圖書	教諭	市川力藏	(鹿児島)
數學	全	市川鑑一郎	(静岡)
國語、歷史、英語	全	堀井稔	(愛知)



漢文、倫理	國語、歷史	習字、博物	英語	國語	漢文	國語	英語	英語	會計係	庶務係
-------	-------	-------	----	----	----	----	----	----	-----	-----

全兼舍監	羽田 藤太郎 (静岡)
教諭	鈴木 覺馬 (静岡)
助教諭	村越 藤太郎 (静岡)
全	花井 楊五郎 (静岡)
教諭心得	西谷 龍顯 (静岡)
全	神田 眞夫 (長崎)
全	西口 敬之 (熊本)
助教諭心得	棕 梨源治 (熊本)
全兼舍監	松井 三平 (静岡)
囑托教授	田畑 晴次 (静岡)
全	岩崎 喜代藏 (静岡)
書記	村越 藤太郎 (静岡)
全	山本 勝次 (静岡)

全

校長	教諭	全	助教諭	全
----	----	---	-----	---

第二 舊職員 (順序不同)

田村 初次郎	米山 久彌	平田 義烈	土屋 鑛藏	井上 正賀	八木 幸太郎	本多 龜三	齊藤 吉夫	西村 宗一	金田 信吉	上田 竹吉	天野 一之丞
--------	-------	-------	-------	-------	--------	-------	-------	-------	-------	-------	--------

全

間宮 勇次郎 (静岡)

木村 巖	杉田 平四郎	宮原 忠正	日根野 正覺	河邊 要之助	田村 豊久	芳賀 龜太郎	千葉 千一	青木 倉藏	中野 轍太郎	服部 喜平	山田 於兔三郎
------	--------	-------	--------	--------	-------	--------	-------	-------	--------	-------	---------

教諭試補	鈴木松太郎	全	堀内政次郎
全	相佐新次郎	全	淺井熊太郎
全	伊藤太郎	全	島田錦太郎
全	眞田兵義	全	石神常藏
教諭心得	橋本和吉	助教諭心得	中山親昌
全	渡邊朝次郎	全	大塚貞藏
全	森川仲治	囑托教授	村松彌一郎
書記	牧野甚八	全	竹山平八郎
全	野田廣三郎	全	間宮昌
第三 囑托役員			
教務主幹	末久教諭	教務副幹	小幡教諭
級 監(五甲)	佐藤教諭	全 上(五乙)	岩崎囑托教師
全 上(四甲)	堀井教諭	全 上(四乙)	鈴木教諭
全 上(三甲)	山下教諭	全 上(三乙)	田畑囑托教師

七〇

全 上(二甲)	寺田教諭	全 上(二乙)	西谷教諭心得
全 上(二丙)	西口教諭心得	全 上(一甲)	市川(鑲)教諭
全 上(一乙)	花井助教諭	全 上(一丙)	市川(力)教諭
巡視部長	中川教諭	全 上	小幡教諭
全 上	佐藤教諭	學友團監督	中川教諭
全副監督	花井助教諭	全 上	山本書記
教務係	田畑囑托教授	整理係	岩崎囑托教授
書籍係	市川(鑲)教諭	全 上	堀井教諭
全 上	神田教諭心得		

第七章 生徒

第一 現在生徒郡別表

濱	引	磐	周	小	榛	安	志	駿	他	計
1	4	16	4	1					5	106
年										

七一

年 度	郡 別	年 級 別													
		濱名郡	引佐郡	磐田郡	周智郡	小笠郡	榛原郡	志太郡	安倍郡	庵原郡	富士郡	駿東郡	田方郡	他府縣	合計
明治廿七年度	一年	六	九	三	八	二	一	〇	〇	〇	一	一	〇	三	一四七
	二年	七	九	三	三	三	〇	一	〇	〇	〇	〇	〇	一	二四
	三年	一〇	一	二	三	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	二	一八
	計	一六	一九	六	一四	一四	一	一	〇	一	一	〇	〇	六	二六七
全廿八年度	一年	七	八	二	九	六	二	〇	〇	〇	〇	二	〇	三	二五
	二年	四	一	二	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	七
	三年	六	九	三	九	六	二	〇	〇	〇	〇	二	〇	三	二三
	計	一七	一八	七	一八	一四	四	〇	〇	〇	〇	二	〇	六	七三
全廿九年度	一年	六	四	三	二	一	〇	一	〇	〇	〇	〇	〇	五	三三
	二年	五	〇	二	〇	一	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	二	一〇
	三年	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	一	一
	計	一六	四	五	二	一	〇	一	〇	〇	〇	〇	〇	八	四四
全三十年度	一年	八	八	四	六	一	三	一	一	〇	一	〇	〇	七	六三
	二年	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	二	二
	三年	一	〇	一	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	二
	計	九	八	五	六	一	三	一	一	〇	一	〇	〇	九	六八
全卅一年度	一年	七	九	三	二	九	〇	二	三	〇	〇	一	〇	五	六三
	二年	二	〇	四	〇	二	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	一	九
	三年	八	九	三	二	二	〇	二	三	〇	〇	一	〇	六	二七
	計	一七	一八	一〇	四	一三	二	五	三	〇	〇	一	〇	一	一〇〇
全卅二年度	一年	四	五	三	九	七	〇	〇	〇	〇	〇	一	〇	五	九五
	二年	一	一	三	〇	一	一	〇	〇	〇	〇	〇	〇	一	八
	三年	〇	〇	一	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	一	二
	計	四	六	七	九	八	一	〇	〇	〇	〇	一	〇	七	一〇五
全卅三年度	一年	八	一〇	二	三	九	〇	〇	〇	〇	〇	一	〇	一	四五
	二年	〇	〇	一	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	一
	三年	〇	〇	〇	〇	一	〇	一	〇	〇	〇	〇	〇	〇	二
	計	八	一〇	三	三	一〇	一	一	〇	〇	〇	一	〇	一	四八
全卅四年度	一年	七	五	二	三	一	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	三	一〇七
	二年	一	二	二	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	五
	三年	七	六	三	三	一	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	三	二二
	計	一五	一三	七	六	四	一	〇	〇	〇	〇	〇	〇	三	一三五

第二 創立以來入學者郡別表

計	年 年 年 年			
	五	四	三	二
275	33	45	51	70
37	3	12	6	12
98	17	20	26	19
25		4	5	12
17	6	5	4	1
1		1		
2	1			1
2		2		
1		1		
20	6	3	3	3
478	66	93	95	118

第三 特待生

濱名郡市野村平民藤八郎二男  
 濱名郡濱松町士族杯武二男  
 濱名郡小野田村平民次三郎二男  
 磐田郡廣瀬村平民慶助弟  
 濱名郡美島村平民治三郎孫  
 磐田郡見附町平民忠七四男  
 濱名郡濱松町平民桂次弟  
 磐田郡熊村平民茂吉弟  
 磐田郡光明村平民瀨平二男  
 磐田郡二俣町平民治三郎長男

第八章 卒業生 (×ハ死亡)

第一回卒業 (明治三十年)

秋元	老川	大石	古澤	安中	林	大箸	川上	縣	稻田
元	織	石	澤	清	要	篤	上		田
元	太	真	好	次	司	次	嘉	嘉	嘉
治	郎	一	郎	郎	(三)	郎	市	作	作
(二)	(二)	(二)	(三)	(三)	年)	(四)	(四)	(五)	(五)
年)	年)	年)	年)	年)		年)	年)	年)	年)

京都工科大学在學

小學校教員

陸軍歩兵少尉

實業

陸軍歩兵少尉

第二回卒業 (明治三十一年)

會社勤務

東京農科大学在學

東京法科大学在學

東京高等工業學校研究科在學

東京農科大学在學

第三高等學校在學

濱名 土屋富五郎

全 × 齋藤九郎左衛門

全 中安 牧太

全 吉田仲太郎

全 住岡良太郎

全 渥味壽丸

濱名 増井勝治

全 長義 連

全 伊藤 茂

全 × 鈴木 倭吉

全 久保田鎮之

全 田畑 泰治

全 齊藤 徳司

東京専門學校在學

實業

第一高等學校在學

海軍兵學校在學

陸軍士官候補生

高等商業學校在學

實業

千葉醫學專門學校在學

小學校教員

山口高等學校在學

全 × 青木仁一郎

引 佐森田勝平

磐 田前嶋亮治

周 智龜井友太郎

濱 名曾布川新平

全 鈴木義一

引 佐鈴木禮吉

磐 田金井喜一郎

濱 名鈴木康造

全 高柳敏太郎

全 鈴木喜一郎

全 松嶋 熙

全 吉田 銳雄

磐 田嶋徳三郎

濱松中學校在勤

實業

全

全 江塚齊

濱名山本勝次

全 內藤正一

全 住岡榮太郎

周智永井勝一郎

磐田句坂元

磐田國枝武

濱名門奈五郎

愛知縣本多數馬

濱名中村與資平

全 榎谷岡之進

全 橋本茂雄

引佐山田政一

第三回卒業 (明治三十二年)

海軍兵學校在學

高等師範學校在學

海軍兵學校在學

第二高等學校在學

東京專門學校在學

第二高等學校在學

陸軍見習士官

第一高等學校在學

東京府山崎次郎

濱名×林增三

全 山口恒吉

全 磯部辨治

全 長延連

全 鈴木福太郎

全 高林善司

全 縣忍

全 竹村廣太

周智湖東喜次郎

引佐鈴木八右衛門

濱名竹山佐一郎

全 仁瓶芳太郎

全 松本英吉

小學校教員

第一高等學校在學

小學校教員

第二高等學校在學

第一高等學校在學

高等師範學校在學

小學校教員

東京專門學校在學

陸軍士官學校在學  
 高等師範學校在學  
 山口高等學校在學  
 東京法學院在學  
 長崎醫學專門學校在學  
 千葉醫學專門學校在學  
 東京哲學院在學  
 千葉醫學專門學校在學  
 東京法學院在學  
 實業  
 東京法學院在學

第四回卒業

(明治三十三年) 三十八名

全	濱	引	濱	磐	全	全	濱	全	磐	全	濱	磐
澤	名	佐	名	田			名	田	田	平	名	田
田	中	堀	石	吉	間	鈴	水	松	松	野	高	佐
宏	澤	內	田	川	淵	木	野	浦	浦	正	柳	藤
	節	源	良	花	一	重	林	太	太	身		榮
	治	一	平	昇	郎	郎		四	四			作
		郎						郎	郎			

第三高等學校在學  
 全  
 海軍兵學校在學  
 高等師範學校在學  
 高等商業學校在學  
 第四高等學校在學  
 東京高等工業學校在學  
 第六高等學校在學  
 實業  
 小學校教員  
 高等師範學校在學  
 第四高等學校在學

磐	全	濱	磐	全	濱	周	引	全	全	全	濱	榛	濱
田		名	田		名	智	佐				名	原	名
長	宮	武	熊	加	堀	齊	宮	橋	中	高	稻	石	本
谷	下	田	谷	藤	內	藤	川	本	村	部	野	川	間
川	辰	登	直	宅	勝	和	利	四	來	勝	喜	記	俊
藤	巳	三	嗣	治	次	策	一	郎	治	太	平	次	
吉				郎	郎				郎	郎	次	郎	

陸軍士官學校在學

第六高等學校在學

實業

一年志願兵

小學校教員

全

千葉醫學專門學校在學

小學校教員

大坂高等工業學校在學

小學校教員

岡山縣	引佐	全	全	全	濱名	引佐	全	濱名	周智	全	全	濱名	駿東
新田	石原	栗原	棚木	藤田	牧野	松井	松浦	井柳	中嶋	中嶋	都築	蜂須	佐々木
權吉	良平	弘三	度	玄齊	孝助	慎一	裏治	市平	嶋	兼次郎	彌一郎	賀誠二	松

東京法學院在學

實業

小學校教員

大坂高等工業學校在學

千葉醫學專門學校在學

第二高等學校在學

小學校教員

大坂高等工業學校在學

千葉醫學專門學校在學

第五回卒業

(明治三十四年)

四十六名

磐田	濱名	磐田	全	全	全	濱名	全	全	全	全	全	全	全	濱名	磐田
森下	高林	鈴木	齊藤	堀内	八木	澤田	小楠	宮崎	宮本	北野	菅沼	長谷川	磐田	高林	森下
一郎	聖一	次郎	三郎	德平	亨	退藏	一郎	四郎	八郎	喜祥	旭太郎	鐵雄	磐田	聖一	一郎



東京高等工業學校在學

第六高等學校在學

第三高等學校在學

千葉醫學專門學校在學

小學校教員

第三高等學校在學

第六高等學校在學

磐	東京府	濱	全	磐	全	全	全	全	濱	磐	周	志	全
田	山	名		田					名	田	智	太	青
齊	崎	馬	梅	木	竹	神	內	山	內	大	山	木	嶋
藤	泰	淵	林	船	嶋	谷	藤	中	藤	庭	好	ノ	五
達	信	亨	源	幾	堅	浦	鼎	司	茂	八	三	金	郎
		三	次	太	五	次			六	三	郎	作	作

小學校教員

全

全

小學校教員

大坂高等工業學校在學

東京專門學校在學

小學校教員

全

慶應義塾在學

全	全	全	全	全	濱	周	磐	濱	周	全	全	全	濱
					名	智	田	名	智				名
竹	野	高	太	太	金	鈴	芳	小	高	瀧	中	川	大
村	田	柳	田	田	原	木	田	倉	木	口	安	井	伊
照	健	光	勉	靖	曉	彥	芳	平	恒	量	清	喜	勝
治	次	純	三	帆	一	次	司	重	男	平	雄	好	次
	郎					郎							郎

千葉醫學專門學校在學  
小學校教員

實業

東京外國語學校在學

山口高等學校在學

小學校教員

東京專門學校在學

實業

濱	引	濱	濱	磐	濱	榛	磐	小	濱	周	小	全	磐
名	佐	名	名	田	名	原	田	笠	名	智	笠		田
伊	內	杉	袴	林	鈴	山	鈴	柴	山	鈴	角	栗	北
藤	山	原	田	昇	木	崎	木	田	下	木	笠	林	嶋
肇	晴	市	容	太	光	慶	源	雄	治	景	仙	猪	理
	帆	藏	平	郎	三	甫	次	太	郎	貞	三	與	三
							郎	郎	七		郎	年	郎

東京專門學校在學

引佐 石川澤太郎

### 附 錄

#### 第一 校友會規則

第一條 本會ハ静岡縣立濱松中學校々友會ト稱ス

第二條 本會ノ目的ハ主トシテ身体ノ發育強健ヲ謀リ勤儉尙武ノ氣風ヲ養成シ知德ヲ練習シ併セテ會員相互ノ氣脈ヲ通シ其親睦ヲ期スルニアリ

第三條 本會ハ静岡縣立濱松中學校職員生徒及ビ卒業生ヲ以テ組織ス

第四條 本會ハ左ノ三科七部ニ分テ其舉行スヘキ事項左ノ如シ

一 武藝科

擊劍部

柔術部

弓術部

一 遊戯科

擊劍

柔術

弓術

野球部  
庭球部

ベース、ボール  
ローン、テニス

一 學藝科

雜誌部

雜誌發刊

演說部

演說講話等

第五條 武藝及ビ遊戯ハ平日之ヲ行ヒ本校第二年生以上ノ會員ハ必ス一技以上ヲ修ムヘキモノトス

第六條 雜誌ハ毎年三回之ヲ發行シ演說ハ春秋二期ニ之ヲ催シ又時々名士ヲ招聘シ講話ヲ乞フ事アル

ベシ

第七條 本會ハ毎年春期ニ於テ運動會ヲ夏期ニ於テ水泳ヲ秋期ニ於テ旅行ヲ舉行ス

第八條 本會ニ左ノ役員ヲ置ク

一 會長 一名(本校々長ヲ推薦ス但校長不在ノトキハ主席教諭ヲ以テコレニ代フ)

一 科長 各科各一名(會長指名)

一 部長 各部各一名(會長指名)

一 庶務主任 一名(會長指名)

一 會計主任 一名(會長指名)

一 常設委員 十二名(三名ハ科長二名ハ庶務主任及ビ會計主任七名ハ各部各一名宛部委員中

ヨリ互撰ス)

一部委員 卅五名(各部各五名宛其部員中ヨリ互撰ス但學藝科各部ノ委員ハ會長ノ指名トス)

第九條 會費ハ毎年八月ヲ除キ職員ハ毎月俸給百分ノ一生徒ハ毎月金三十錢ヲ納附スルモノトス

第十條 武藝科及ビ遊戯科ノ費用ハ毎年八月ヲ除キ左ノ割合ヲ以テ毎月之ヲ科長ニ渡シ科長ハ之レヲ

銀行ニ預ケ入レ其通帳ヲ保管スルモノトス

一 武藝科 金參拾圓

一 遊戯科 金貳拾圓

第十一條 學藝科ノ費用ハ其都度本會ヨリ支出スルモノトス

第十二條 運動會、水泳及ビ旅行施行ノ際ハ常設委員會ノ決議ニヨリ補助費ヲ支出スルモノトス但本

條ノ外臨時補助費ヲ支出セントスル場合アルルモ亦コレニ同シ

第十三條 本會規則ハ役員會ニ於テ三分ノ二以上ノ同意ヲ得ルニアラサレバ變更スル事ヲ得ス

附 則

第十四條 本規則ハ明治三十五年一月ヨリ之ヲ施行ス

第二 蜻蛉會規則

第一條 本會ハ静岡縣立濱松中學校寄宿舎蜻蛉會ト稱ス

第二條 本會ハ専ラ辨論ヲ修練シ智識ヲ交換シ風儀ヲ矯正シ併セテ相互ノ親睦ヲ厚ウシ氣脈ヲ通ズルヲ以テ目的トス

第三條 本會ハ左ノ會員ヨリ成ルモノトス

一 通常會員 静岡縣立濱松中學校寄宿舎生徒

二 特別會員 其卒業生及ビ幹事タリシ退舎生徒

第四條 本會ハ総テ舎監ノ監督ヲ受クルモノトス

第五條 本會ハ左ノ事業ヲ行フモノトス

一 毎月一回通常會ヲ開ク事

二 毎年九月下旬カ若クハ十月上旬總會ヲ開ク事但其期日ハ其都度之ヲ定ム

三 有志者ノ寄贈及ビ本會ノ購入セル書籍雜誌及ビ新聞ヲ備ヘ毎日常在舎スル通常會員ノ縱覽ニ供スル事

四 毎年總會後雜誌ヲ發行シテ會員ニ頒ツ事

但雜誌ハ蜻蛉會雜誌ト稱シ會員ノ文章通信本會ノ記事會計寄宿舎ノ狀況會員ノ住所姓名及ビ本會ニ關係アルモノ、寄書等ヲ記載ス

五 其他總テ本會ノ目的ヲ達スベキ事

第六條 本會ニ通常會員ヨリ幹事五名ヲ置キ本會一切ノ事務ヲ掌ラシムルモノトス

但二名ハ舎監指名シ其任期ヲ一ケ年ト定メ三名ハ每學期ノ始メ通常會員互撰シ其任期ヲ一學期ト定ム

雜誌編輯ニ關シテハ幹事ハ其材料ヲ取捨シ舎監ノ檢閲ヲ經タル後之ヲ登載スベシ

第七條 通常會員ハ會費トシテ八月ヲ除キ毎月金八錢ヲ納ムルモノトス

八錢中六錢以内ヲ以テ月費ニ充テ殘餘ヲ以テ豫備費ニ充ツ

但臨時ニ費用ヲ要スルトキハ臨時之ヲ徴收スルコトアルベシ

第九條 本會ノ規則ハ舎監ト會員トノ協議ニ依ルニアラザレバ變更増補スルコトヲ得ズ

222  
R55

明治三十五年四月十二日印刷

(非賣品)

明治三十五年四月十五日發行

編纂兼發行

静岡縣立濱松中學校

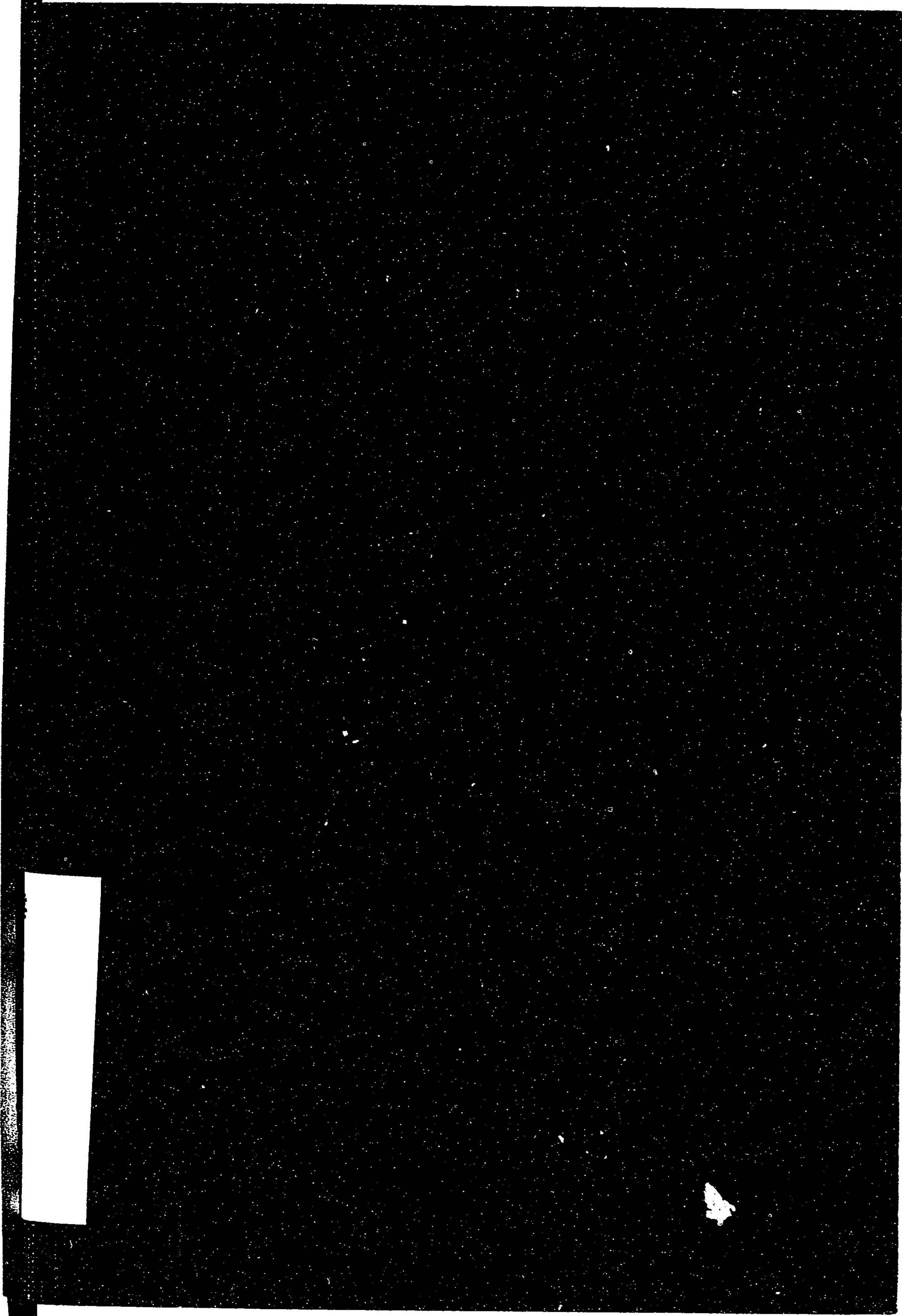
静岡縣濱名郡濱松町連尺三十三番地

印刷者

内田友治

印刷所

郁文舎



特 30

733

静岡  
県立 浜松中学校一覽

国立国会図書館

048722-000-6

特30-733

静岡県立浜松中学校一覽

静岡県立浜松中学校

M35

BEJ-0240

